

**神戸市外郭団体経営評価委員**  
**平成 20 年度 活動報告書**

～これまでの活動の総括として～

平成 21 年 3 月 31 日

神戸市外郭団体経営評価委員

THE UNIVERSITY OF CHICAGO

PHYSICS DEPARTMENT

PHYSICS 354

LECTURE 1

STATISTICAL MECHANICS

## 平成20年度活動報告

神戸市長 矢田 立郎 様

本年度は、これまでの外郭団体における経営改善の検証を行いました。ここに調査内容を取りまとめましたので報告いたします。

平成21年3月31日

神戸市外郭団体経営評価委員

岡村 修

谷口 知史

西村 順二



## —目次—

	ページ
1. 序 .....	1
2. 活動方針及びスケジュール .....	1
3. 概観 .....	2
4. 経営改善策の実施状況 .....	4
5. 連続赤字団体の状況 .....	4
6. 各団体に共通する助言・提案 .....	5
7. まとめ .....	7
8. 各団体の経営改善の実施状況（個表） .....	8

## 1. 序

この経営評価委員制度は、外郭団体の抜本的な見直し及び経営改善を推進するため、平成14年度に設置され、本年で7年度目にあたる。その間、平成15年の地方自治法の改正で指定管理者制度が導入され、平成18年度までに公の施設の管理が民間事業者に開放された。また、平成18年5月には新会社法が施行され、株式会社の組織や内部統制などの改革が行われた。さらに、平成20年12月には公益法人制度改革3法が施行されている。このことによって、神戸市の外郭団体46団体中、22団体を占める社団法人、財団法人について、5年間の移行期間内に公益認定を受ける公益社団・財団法人又は一般社団・財団法人への移行などの選択を行う必要がある。このような環境変化によって外郭団体は、まさに大きな転換点を迎えている。

一方で、アメリカの住宅バブル崩壊に端を発する金融危機と合わせて起こった世界同時不況の広がりによって、株式会社、公益法人とも厳しい経営環境にさらされている。

また、総務省から、平成20年6月30日付けで出された「第三セクター等の改革について」とする通知で、経営が著しく悪化した第三セクター等について、外部委員によって改革の方策を検討し、地方公共団体の改革プランを策定するようガイドラインが策定されており、さらに平成20年12月5日に出された総務省の債務調整等に関する調査研究会の報告において、地方公共団体においては、第3セクターの抜本的改革について、先送りをするのではなく早期に取り組み、将来的な財政負担の明確化と計画的な削減に取り組む必要があるということが示されており、赤字団体の抜本的改革は、喫緊の課題となっている。

平成19年度決算において、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく指標が初めて公表され、外郭団体等への損失補償を考慮した神戸市の将来負担比率は、177.5%と、政令指定都市の早期健全化基準である400%を大きく下回っているが、これまで検証してきているように課題を抱えた団体が存在している。

## 2. 活動方針及びスケジュール

平成17年度までに、すべての外郭団体について評価・検証を終え、平成18年度には、我々の助言・提案に対する各団体の取り組み状況を検証した。

昨年度は我々が評価をはじめた平成14年度から連続して赤字を計上している団体の経営に関して検証した上で、助言・提案を行うとともに、各団体に共通する助言・提案として契約における競争性の導入の徹底、減資の検討、資産運用等におけるリスク管理体制の確立、外郭団体全体のナレッジマネジメント及び経営者の評価等について助言・提案を行った。

今年度は、以下のとおり、各団体の経営改善に関する取り組み状況や連続赤字団体の状況について検証を行うとともに、現在の環境を踏まえて、各団体に共通する助言・提案を行った。

平成20年11月7日 平成20年度第1回神戸市外郭団体経営評価委員会議

・団体ヒアリング（3団体）

株式会社神戸ワイン

海上アクセス株式会社

財団法人水道サービス公社

・資産運用について審議

平成20年12月5日 平成20年度第2回神戸市外郭団体経営評価委員会議

・その他の連続赤字団体の改善状況

財団法人先端医療振興財団

神戸マリンホテルズ株式会社

財団法人神戸みのりの公社

くつのまちながた神戸株式会社

・資産運用について審議

・各団体の経営改善策実施の状況

平成21年2月13日 平成20年度第3回神戸市外郭団体経営評価委員会議

・報告書素案について検討

平成21年3月6日 平成20年度第4回神戸市外郭団体経営評価委員会議

・報告書案について最終検討

### 3. 概観

株式会社の決算の概要を平成14年度から平成19年度にかけて表1に示しているが、平成19年度決算は、株式会社では利益計上している団体は14団体で、利益合計は19億円となっている。平成18年度に比べて、黒字団体は1団体減少しているが、利益合計は1億円の増加となっている。一方で、損失を計上している団体は6団体となっており、団体数は平成18年度と同数であるが、平成19年7月に解散した神戸カム株式会社が赤字団体であったため、実質的には赤字となった団体が1団体増加している。しかし、損失の合計は、7億円から5億円へと2億円改善している。

これを、平成14年度決算と比較すると、利益剰余金の合計額では、平成14年度の▲486億円が平成19年度には▲457億円となっており、29億円の改善がなされている。減損会計の影響を除くと平成14年度の▲486億円から平成19年度には▲440億円となっており、改善幅は46億円へと拡大し、総じて経営の改善は進んできている。

表1 株式会社全体の当期損益の推移（団体数は各年度末現在）

単位：億円

	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成14年度からの増減	
	団体数	金額	団体数	金額	団体数	金額	団体数	金額	団体数	金額	団体数	金額	団体数	金額
利益計上	13	8	13	9	12	10	13	12	15	18	14	19	1	11
損失計上	8	▲15	8	▲3	9	▲6	8	▲17 (▲3)	6	▲7 (▲4)	6	▲5 (▲5)	▲2	10 (10)
合計	21	▲7	21	6	21	4	21	▲5 (9)	21	11 (14)	20	14 (14)	▲1	21 (21)
累積損益の合計 (利益剰余金の合計)		▲486 (▲486)		▲481 (▲481)		▲477 (▲477)		▲482 (▲468)		▲471 (▲454)		▲457 (▲440)		29 (46)

カッコ内は、減損会計の影響を除いた額

公益法人等については、特別法人や社会福祉法人が含まれており、それぞれ会計基準が異なるため、一概には比較できないが、平成14年度から平成19年度までの各年度において正味財産増加団体と正味財産減少団体の団体数を表2に示している。平成19年度の正味財産増加団体の数は23団体で、平成20年1月に設立された財団法人計算科学振興財団を含め、平成18年度に比べて2団体増加している。逆に正味財産減少団体の数は5団体で1団体減少しており、株式会社と同様に改善傾向にある。

なお、公益法人等については、平成15年度に財団法人神戸港厚生サービス協会及び社団法人交通局公済会を解散したため2団体減少したが、平成16年度に社団法人神戸港振興協会を外郭団体に位置づけたことや、前述のとおり平成19年度に財団法人計算科学振興財団が設立されたことから、2団体増加している（財団法人神戸市シルバー人材センター及び社団法人神戸国際カントリー倶楽部は、平成19年度末現在存在していたため、団体の減には反映していない）。

表2 公益法人等の正味財産増減別団体数の推移（各年度末現在）

	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成14年度からの増減
正味財産増加 又は利益計上	19	19	17	17	21	23	4
正味財産減少 又は損失計上	9	9	10	10	6	5	▲4
合計	28	28	27	27	27	28	



#### 4. 経営改善策の実施状況

平成14年度からの市からの補助金及び委託料の推移を見てみると、表3のとおり補助金では、平成14年度の105億円が平成19年度には59億円と46億円減少している。委託料についても、平成14年度の471億円が301億円と170億円減少している。このように市から外郭団体への補助金、委託料のいずれも相当減少している。このように外郭団体の経営環境は厳しくなっているが、全体としては赤字団体は減少し、黒字団体が増加している。

平成18年度は、我々の助言・提案に対する各団体での対応状況について、検証・評価を行ったが、今年度は、単に指摘したものだけでなく、団体の自主的な経営改善状況についてそれぞれ年度ごとの取り組みのほか、職員数や純資産額の推移等を8ページ以降で示している。個別団体ごとの取り組みに濃淡はあるが、概ね自律的かつ効率的な経営改善が進められていることが全体の経営改善につながっていると思われる。

表3 神戸市からの外郭団体への補助金・委託料の推移

補助金・委託料	平成14年度		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		対平成14年度からの増減累計
	金額		金額	対前年増減	金額	対前年増減	金額	対前年増減	金額	対前年増減	金額	対前年増減	
市からの補助金合計	10,491		7,621	▲ 2,870	7,446	▲ 175	7,076	▲ 370	7,325	249	5,856	▲ 1,469	▲ 4,635
市からの委託料合計	47,088		34,174	▲ 12,914	33,107	▲ 1,067	33,722	615	32,219	▲ 1,503	30,058	▲ 2,161	▲ 17,030

百万円未満は切り捨て。委託料には指定管理料を含む。

#### 5. 連続赤字団体の状況

平成19年度に経営改善を提言した6団体について、以下のとおり検証を行った。

##### (1) 財団法人先端医療振興財団

平成19年度に、公益法人として団体の存続を図るのであれば、財務的な戦略を含んだ中期経営計画を示し、市からの支援について協議していただくよう提言したが、団体自身のさらなる経営改善努力を前提に、市から株式や土地の追加出捐により債務超過が解消される見通しになっている。

当財団は、平成18年度以降は、経営改善の取り組みの結果、正味財産の増加を図っており、今後もより安定した経営が行えるよう引き続き経営改善に取り組んでいただきたい。

##### (2) 神戸マリンホテルズ株式会社

平成19年度に、今後数年で顕著な改善がみられない場合には、事業構造を含めた抜本的な改革が必要であると提言したが、平成19年度に比べて平成20年度は、景気の落ち込みなど外部環境がさらに悪化している。市からの貸付金の増額が行われており、事業スキームを含めた抜本的解決策の検討を早急にお願いしたい。

##### (3) 株式会社神戸ワイン

平成19年度に、フルーツフラワーパークのあり方を考えた上で運営手法や管理のあり方を検討していただくよう提言した。今後は、平成20年7月から試験的に実施した駐車

料金の無料化を本格化し、また、入園料や使用料を利用料金制に移行することによって、柔軟な運営を促し、さらに市民サービスの向上を図るとのことである。引き続き、高速道路料金の低減化を受けた広域の集客など経営の安定化を図られるよう市とも協議しながら抜本的改善策の検討をお願いしたい。

#### (4) 財団法人神戸みよりの公社

平成19年度に、ワイン事業について経営改善がなされなければ、事業そのものを民間に任せるか、撤退又は大幅な縮小も検討すべきと提言したが、平成20年度は、新商品の開発とブランドイメージの向上によりワインの売上が昨年度に比較して大幅に伸び、収支は均衡する見通しと聞いている。しかし、財務状況は決して余裕のある状態ではなく、今後さらにブドウ買い取り制限の徹底、高品質化の推進など営業努力を通じて在庫の圧縮を図り、経営改善に努めていただきたい。

#### (5) くつのまちながた神戸株式会社

平成19年度に、現在の事業の再評価を行い、施設のあり方を見直すため、どのようなターゲットに対して施設をどのように活用していくのかについて検討をお願いした。その結果、小売用スペースを1階のみとし、2階以上は原則ビジネス用に利用し、その中で市のインキュベーション事業の拡充なども行うということである。シューズプラザの再活性化も含めた改善策によって会社経営の安定化を図られることを期待したい。

#### (6) 海上アクセス株式会社

平成19年度に、黒字化するのが難しいようであれば、抜本的に事業のあり方を見直すよう提言した。平成20年度は関西国際空港の旅客数の減少にもかかわらず、海上アクセスの利用者数は増加しており、また、経費についても大幅な削減を図れる見込みと聞いている。しかし、依然として財務状況が厳しいため、さらなる経営努力により、早急に単年度収支の均衡を図っていただきたい。さらに、累積債務の圧縮に向けて、将来にわたって恒常的な黒字経営ができるような体質強化を図るよう、強く要請する。

### 6. 各団体に共通する助言・提案

平成20年度は世界的な金融危機が発生し、多くの企業、団体で損失が発生している。外郭団体においては、平成19年度の報告でも確実な運用をお願いしているところであるが、資産運用の期間、運用対象商品、運用のための手続き、運用状況のチェック体制について規程を見直して、安全・確実な運用をしていただきたい。さらに実際の商品選定にあたっては、流動性と運用期間の関係も十分考慮の上、資産運用を行い、特定の金融商品に多額の資産を運用することのないようリスク分散を図るようお願いしたい。特に、流動性の少ない商品への長期運用については、そのリスクが大きいことから今後の運用は極力避けるとともに、運用する場合には役員会や理事会に諮るなど、団体の意思決定にあたっては

慎重な対応をしていただきたい。また、運用資産については、定期的に評価を行い、評価差額については、決算時に報告するようお願いする。

また、外郭団体の経営責任者に関して、市の退職者又は派遣職員が経営責任者となっている場合がある。公益性の高い団体や市と連携して公益的事業を推進していくような団体では、市職員として培った経験と知識が必要な場合が多く、市の退職者又は派遣職員を選任すること自体に問題があるとは考えないが、団体の経営責任者としての資質の向上を図る必要があり、そのための取り組みを行っていただきたい。また、民間人材が外郭団体の経営責任者に就任する場合があるが、それぞれの民間人材に求めるものは、こういったことを明確にした上で登用されるようお願いする。

序にも書いたが、平成20年12月には公益法人制度改革3法が施行されている。新法に基づいて、理事会、評議員会の再編や公益性の認定取得の有無など団体を根本から見直す必要がある。例えば、公益目的事業比率が低いために公益認定されない場合、他の団体の公益事業を引き継げば公益事業比率が増加し、公益認定を受けることができるようになる可能性がある。そうすれば、公益事業を行う際の税負担も軽減され、より効率的な公益事業の推進が期待できる。そういったことも含めて総合的な判断のもと、効率的・効果的な事業の実施のために社団・財団法人及び株式会社の事業再編も含めて検討を行っていただきたい。

また、一部の団体において、回収困難な債権が発生しているが、市でも債権管理対策推進本部を立ち上げ、債権の回収を行っており、滞留債権については迅速に法的対応を行うなど厳正な対応を行い、鋭意回収に努めるようお願いしたい。さらに、その回収の状況に応じて貸倒引当金又は貸倒損失を計上する必要があるが、新規テナントの誘致にあたっては、保証や担保をとるなどリスク回避のための方策をとるよう努めていただきたい。

平成19年度も申し上げたが、委託・請負契約について提案を受けて契約した場合の期限を明確にし、一定期間ごとに行っている見積もり合わせの期間の短縮化等も含め、さらなる競争の導入に努めていただきたい。

また、株式会社において現状の事業規模から見て過大な資本を有している場合、特に累積損失が大きな会社については適正な資本規模となるよう市の有する株式価値には変動を与えない無償減資の検討を是非お願いしたい。

さらに、役員の数に関しても、公益法人制度改革によって社団法人・財団法人における理事の位置づけが変わることに伴い、見直しを行う必要がある。株式会社においても、小規模な団体では機動性を発揮できるようスリム化を図ることを検討いただきたい。

我々が任にあたって最初に報告したときに提言した中期経営計画の策定は全団体においてなされているが、2順目以降の団体においては、計画のさらなる精緻化に努めていただきたい。また、計画の推進にあたっては、単に各々の部署に委ねるのではなく、核になる部門を決めて、組織的な評価・推進をお願いしたい。

## 7. まとめ

震災以降、外郭団体の統廃合等を積極的に実施され、最近では神戸カム株式会社や社団法人シルバー人材センター、社団法人神戸市国際カントリー倶楽部及び財団法人羽東川・波豆川流域水質保全基金の解散など統廃合に取り組んでおられるが、今後さらに地方公共団体がおかれている環境の中で、各団体の存立意義・役割などあり方を改めて検証する必要がある。団体においても、中期経営計画の推進のために核になる部門を定めるよう助言しているが、神戸市においてもさらなる体制強化を行い、外郭団体を含めた市全体の施策の最適化を積極的に図っていただきたい。

一方で、外郭団体が市民サービスの向上を図るといふ市のミッションを担っているという観点に立ちながら、時代の変革の中で、原点に立ち返り本来の役割を踏まえ、統合を検討するとともに、あわせて退出戦略をもって廃止を検討すべきである。

経営評価委員としての活動は平成20年度で終了するが、平成21年度からは体制を強化した上で、活動を進めて行くと考えている。

我々の7年間の活動も踏まえて市民サービス向上のため、外郭団体の経営改善、業務やサービスの質の向上、予算配分などの最適化に今後も取り組まれることを期待する。

団体名 神戸新交通株式会社

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	1911	▲4	191	▲190	▲1	170	▲20	177	7	177	0	▲18	
投資の状況及び環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サブリース事業の受託</li> <li>・市民病院前に調利薬局等店舗用の土地購入</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートアイランド線延伸事業の施行に伴う増資(871,000千円)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポートアイランド線延伸事業の施行に伴う増資(1,995,000千円)</li> <li>・ポートアイランド線延伸線の開業</li> <li>・運賃対キロ区間制導入</li> <li>・快速列車の運行開始</li> <li>・ポートライナー車両増備(3編成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延伸線開業に伴う組織の見直し及び新線建設部の解散</li> <li>・KEMS(神戸市環境マネジメントシステム)導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3大学の閉校</li> <li>・ダイヤ改正の実施</li> <li>・ポートライナー車両増備(1編成)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポートライナー車両更新(9編成)</li> </ul>						
経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給料表の改定</li> <li>給料表を4%減</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中期経営計画(H15年度～H17年度)</li> <li>・通常保守費を対H15比で5%以上削減→H17実績10.4%削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期経営計画(H18年度～H20年度)</li> <li>・3年間で経常利益15億円以上</li> <li>・設備投資資金借入れを70%以内に圧縮→H19実績44%</li> </ul>									
経常損益	264,549	180,153	437,556	173,007	617,644	180,088	317,403	▲300,241	238,499	▲78,904		154,103	
当期損益	116,849	39,287	179,823	62,974	▲244,397	▲424,220	123,737	368,134	96,184	▲27,553		18,622	
純資産額	273,287	126,169	1,314,791	1,041,504	3,065,394	1,750,603	3,189,131	123,737	2,880,748	▲308,383		2,733,630	
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	
市からの受託料	54,525	▲73,726	214,340	159,815	90,948	▲123,392	225,768	134,820	28,555	▲197,213		▲99,696	
団体名 神戸新交通株式会社 *増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計													

# 団体名 財団法人計算科学振興財団

年	単位:人、千円					増減累計
	平成15年度	対前年 平成16年度	対前年 平成17年度	対前年 平成18年度	対前年 平成19年度	
職員数	0				0	6
投資の状況及び環境 変化等	財団設立(平成20年1月)					
経営改善・改革の内容	技術支援事業の推進 技術支援スタッフ1増					
正味財産増減	101,539					
正味財産	101,539					
市からの補助金	950					
市からの受託料	0					
	0					
	950					
	0					

団体名 財団法人計算科学振興財団

\*増減累計欄は、職員数はH20年度までの、補助金・委託料はH19年度までの累計

# 団体名 神戸都市振興サービス株式会社

単位:人、千円

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計	
	14	▲6	11	▲3	9	▲2	9	0	10	1	9	▲1		
職員数	先端医療センター 本格稼働(ブランドオープン)はH15.3月 ・3月 神戸バイオメディカル創造センター(BMA)完成 ・神戸臨床研究情報センター(TRI)の管理業務委託 ・第三者割当増資 4.3億円	▲6	4月 BMA別棟 完成 ・6月 神戸バイオメディカル創造センター(BMA) 供用開始 ・20億円借入(シジケートローン、5年返済) ・第三者割当増資 1.5億円	▲3	・10月 分子イメージング研究開発拠点施設 買付開始	0	・10月 分子イメージング研究開発拠点施設 買付開始	9	0	10	1	9	▲1	増減累計 ▲11
投資の状況及び環境変化等														
経営改善・改革の内容	・市派遣社員減 (先端医療センターの完成) ・中期経営計画(5か年計画) 策定		・市派遣社員減 (BMA等の完成により建設部解散) ・第三者割当増資 1.5億円		・単年度黒字に転換 95百万円				・中小機構出向社員減					
経営改善・改革の内容	中期経営計画(H16年度～H20年度) ・先端医療センター及び神戸バイオメディカル創造センターの100%入居→先端医療センター→75.0%(H21年3月) ・平成20年度に累積損失解消													
経常損益	▲58,372	▲22,736	▲117,513	▲59,141	95,795	213,308	170,428	74,633	104,845	▲65,583			140,481	
当期損益	▲58,123	▲16,762	▲118,442	▲60,319	94,585	213,027	174,567	79,982	▲15,395	▲189,962			25,966	
純資産額	14,166,550	371,572	14,198,192	31,642	14,292,529	94,337	14,467,167	174,638	14,342,894	▲124,273			547,916	
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	
市からの受託料	0	▲4,733,891	0	0	0	0	0	0	0	0			▲4,733,891	

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 神戸都市振興サービス株式会社

# 団体名 神戸高速鉄道株式会社

		単位:人、千円										
年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年
職員数	139	▲4	144	5	147	3	148	1	143	▲5	140	▲3
投資の状況及び環境 変化等	設備投資額320,602千円 ・高速神戸駅ハリアアフリー化設備 他		設備投資額127,141千円 ・花隈買収マンション区分所有権 他		設備投資額913,289千円 ・IC乗車券対応設備 ・新開地駅排煙設備 他		設備投資額770,562千円 ・駅務収入管理システム更新 ・高速神戸駅排煙設備 他 ・KobePiTaPaカード平成18年7月1日導入		設備投資額373,035千円 ・駅務機器ソフトウェア改良 ・ATS(阪急方閉塞部)更新 他		設備投資予算額1,401,454千円 ・各駅火災対策施設整備 ・駅務機器更新 他 ・平成20年4月1日よりホームページを開設し、当社のPRに努める。	
経営改善・改革の内容	基本給の10%カットを継続中で、早期退職優遇制度を更新。 ・14年度に人事制度委員会を設置 ・人員の削減については、震災後から実施し、14年度の組織見直しでほぼ収束。				平成17年4月1日に「55歳選択定年制」を導入し、人件費の削減。 ・「職能資格等級制度」「賃金制度」「人事考課制度」の3制度を柱とした新人事制度を導入し、社員の意識改革を図る。(平成17年10月より導入)				平成19年度、食事補助手当の支給凍結			
経常損益	112,332 ▲ 47,050		83,435 ▲ 28,897		47,946 ▲ 35,489		▲ 75,436 ▲ 123,382		88,464		163,900	
当期損益	45,870 ▲ 52,171		69,923 24,053		123,904 53,981		59,785 ▲ 64,119		▲ 106,131		▲ 165,916	
純資産額	622,283 45,871		692,206 69,923		816,111 123,905		891,136 75,025		776,086		▲ 115,050	
市からの補助金	126,911 71,911		99,000 ▲ 27,911		87,666 ▲ 11,334		101,733 14,067		75,012		▲ 26,721	
市からの受託料	100,697 3,047		12,900 ▲ 87,797		0 ▲ 12,900		0		26,000		26,000	
中期経営計画(H17年度～H21年度) ・大量退職に備えての円滑な業務の引きつぎ ・累積赤字の減少												



団体名 財団法人先端医療振興財団

		単位:人、千円												
年	職員数	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
	職員数	264	▲156	269	▲5	272	3	235	▲37	231	▲4	263	▲32	155
	投資の状況及び環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>先端医療センター全面開業</li> <li>神戸臨床研究情報センター開設</li> <li>医療機器研究開発発注完成</li> <li>固形癌における強度変調放射線治療が先進医療に認定</li> <li>民間病院と連携したPET検査による患者数の増</li> <li>プロジェクト事業(細胞組織工学研究事業)終了に伴う職員減</li> <li>部門別収支による部門長の責任明確化</li> <li>プロジェクト事業(橋渡し研究、知的クラスター創生事業等)開始に伴う職員増</li> <li>眼科診療の開始</li> </ul>												
	経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期経営計画(H17年度～H21年度)</li> <li>トップダウンマネジメントの推進</li> <li>組織の効率化、活性化</li> <li>経営計画を踏まえたアクションプログラムの策定と実行、職員の業務評価の徹底</li> </ul>												
	正味財産増減	▲909,499	15,585	▲745,263	164,236	▲402,920	342,443	78,699	481,519	2,497	▲76,202	▲927,581		
	正味財産	▲508,787	▲909,498	▲1,254,051	▲745,264	▲1,656,870	▲402,819	▲1,578,171	78,699	▲1,575,674	2,497	▲1,976,385		
	市からの補助金	151,848	▲192,263	136,926	▲14,922	303,074	166,148	546,447	243,373	335,580	▲210,867	▲8,531		
	市からの受託料	0	0	0	0	0	0	12,245	12,245	7,151	▲5,094	7,151		

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 財団法人先端医療振興財団

団体名 財団法人神戸いきいき勤労財団

年	単位:人、千円												
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	118	▲3	110	▲8	104	▲6	93	▲11	88	▲5	88	0	▲33
投資の状況及び環境変化等	<p>神戸勤労福祉振興財団とシルバー人材センター同本部事務所を、中央区総合庁舎からサンバルへ移転。(H15.9)</p> <p>「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」一部改正で、届出によりシルバー人材センターで一般労働者派遣事業が実施可能となる。(H16.12)</p>												
経営改善・改革の内容	<p>(勤労福祉振興財団)                      ・派遣職員の嘱託化                      ・本部事務所の移転、借上げスペースの削減                      ・事業の見直し、廃止等                      (シルバー人材センター)                      ・固有職員の嘱託化                      ・保険料の見直し、車庫のリース化                      他</p> <p>(勤労福祉振興財団)                      ・派遣職員の嘱託化                      ・指導支援員(派遣職員)を廃止                      ・嘱託職員のシルバ-会員への置き換え                      ・後期より、施設使用料の減免廃止に伴い受講料を値上げ(同時に受講率の確保策も実施)                      ・利用者アンケート調査における満足度の向上                      (シルバー人材センター)                      ・固有職員の嘱託化                      ・北区・西区センターの人的体制の適正化                      →嘱託職員増                      ・事務経費の減</p> <p>(勤労福祉振興財団)                      ・嘱託職員のシルバ-会員への置き換え                      ・講座の増設による定員拡充により増収をはかる                      ・加入促進員(シルバ-会員)の通年配属による加入促進強化                      (シルバー人材センター)                      ・固有職員の嘱託化                      ・就業開始員(パート3名)の配置                      ・光熱水費等の減</p> <p>(勤労福祉振興財団)                      ・民間経理者の専任兼用嘱託職員のシルバ-会員への置き換え等                      ・原則無休体制、夜間の時間延長、施設利用管理システムの導入、ご意見箱設置                      ・新たに大腸がん検診の実施などサービス向上を図る                      ・KEMS(神戸市環境マネジメントシステム)導入                      ・固有職員の嘱託化                      ・KEMS(神戸市環境マネジメントシステム)導入</p> <p>(勤労福祉振興財団)                      ・嘱託職員のシルバ-会員への置き換え                      ・受付方法の改善                      ・講座のスクラップ&amp;ビルドによる受講者増                      (シルバー人材センター)                      ・固有職員の嘱託化                      ・子育て支援事業拡充による嘱託職員増                      ・光熱水費等の減                      ・両財団の統合のメリットを反映し、その行動指針となる新しい「勤労者の生涯福祉事業」のビジョンを策定(H20.3)</p> <p>勤労福祉振興財団中期経営計画(H16年度～H19年度)                      ・市民ニーズに適合した経営、指定管理者制度への対応</p> <p>シルバー人材センター中期経営計画(H14年度～H22年度)                      ・就業の拡充、特に新たな就業分野の開拓、事業推進を通じた地域社会への貢献、事業推進体制の強化</p>												
正味財産増減	1,762	▲6,666	9,309	7,547	30,744	21,435	7,435	▲23,309	13,198	5,763	4,770		
正味財産	348,874	1,762	358,183	9,309	388,927	30,744	396,362	7,435	409,560	13,198	62,448		
市からの補助金	333,404	▲208,134	225,063	▲108,341	206,486	▲18,577	208,851	2,365	189,188	▲20,663	▲353,350		
市からの受託料	1,196,305	▲10,305	1,167,535	▲28,770	1,165,379	▲2,156	764,894	▲400,485	774,211	9,317	▲432,599		

団体名 財団法人神戸いきいき勤労財団  
 (旧 財団法人神戸勤労福祉振興財団)

\*平成19年度までの数字はすべて、勤労福祉振興財団とシルバー人材センターの合計  
 \*\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

# 団体名 神戸マリンホテルズ株式会社

		単位:人、千円												
		平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
		162	▲ 32	162	0	162	168	177	181	177	9	181	4	▲ 13
職員数		<ul style="list-style-type: none"> <li>・宴会場改装(春秋・五色)</li> <li>・宴会場改装(須磨)</li> <li>・新婦用支度部屋新設(4室)</li> <li>・ロビー喫茶新設(カフェ・レストラン)</li> <li>・新婦用支度部屋新設(4室)</li> <li>・新婦用支度部屋改装(4室⇒8室)</li> <li>・レストラン改装(有栖川舞台設置・海蔵個室の改修)</li> <li>・溶岩養生新設(スコール)</li> </ul>												
投資の状況及び環境変化等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給与体系変更(▲85百万円)</li> <li>・委託契約等変更(▲36百万円)</li> <li>・ホテルシステムコンピュータ導入による業務の効率化</li> <li>・費用削減システムの確立…経費管理体の新設、入札相互見積の拡大と徹底</li> <li>・部門別損益管理システムの導入…カード・調理を統合管理し、責任者の明確化、執行管理の強化</li> <li>・進捗管理・検証システムの導入…検証委員会により、四半期毎に各計画の進捗状況、経費の検証</li> <li>・中期経営計画(H15年度～H16年度)</li> <li>・オンラインワン追求による売上増等</li> </ul>												
経営改善・改革の内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期経営計画(H17年度～H19年度)</li> <li>・費用削減による利益の確保等</li> <li>・KEMS(神戸市環境マネジメントシステム)導入</li> <li>・閉歇期対策…閉歇期に別館休館日・レストラン定休日を設け、諸費用を削減</li> <li>・閉歇期対策(前期から拡大継続)…閉歇期に別館休館日・レストラン定休日を設け、諸費用を削減</li> <li>・中期経営計画(H20年度～H22年度)</li> <li>・経営黒字基礎の確立と累積損失の圧縮</li> </ul>												
経常損益		▲ 63,480	55,368	▲ 311,210	▲ 247,730	▲ 52,717	▲ 258,493	▲ 90,178	▲ 37,461	23,441	113,619	142,289		
当期損益		▲ 108,200	11,178	▲ 316,241	▲ 208,041	▲ 419,485	▲ 103,244	▲ 141,740	277,745	22,898	164,638	142,276		
純資産額		▲ 1,877,068	▲ 108,200	▲ 2,193,307	▲ 316,241	▲ 2,612,792	▲ 419,485	▲ 2,754,532	▲ 141,740	▲ 2,731,633	22,899	▲ 962,767		
市からの補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
市からの受託料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 神戸マリンホテルズ株式会社

# 団体名 財団法人神戸市民文化振興財団

年 職員数	単位：人、千円					対前年 ▲15	平成17年度 75	対前年 ▲22	平成18年度 60	対前年 ▲15	平成19年度 56	対前年 ▲4	平成20年度 57	対前年 1	増減累計 ▲74
	平成15年度 116	対前年 ▲19	平成16年度 97	対前年 ▲15											
投資の状況及び環境 変化等	<p>財団事務局をサンパルから神戸文化ホールに移転。</p> <p>神戶アートビレッジセンターの管理運営受託終了。 神戶文化ホール小ホールの廃止。</p> <p>丸山コミュニケーションセンターの管理運営受託終了。</p>														
経営改善・改革の内容	<p>・区民センター市派遣職員を嘱託に変更。 ・移動公演専事事業の廃止。</p> <p>・区民センター市派遣職員を削減。 ・嘱託をシルバ一人材センターへ変更 ・神戶文化ホール副館長及びホール管理課長を廃止。 ・区民センター講座専業への公的援助の全面廃止、独立採算化。</p>														
正味財産増減	1,430	3,063	2,556	1,126	▲7,402	▲9,958	24,516	31,918	24,957	441	26,590				
正味財産	168,318	1,430	170,874	2,556	163,472	▲7,402	187,988	24,516	212,945	24,957	46,057				
市からの補助金	654,003	▲231,696	460,191	▲193,812	286,112	▲174,079	284,198	▲1,914	274,667	▲9,631	▲611,132				
市からの受託料	1,182,969	14,492	1,124,481	▲58,488	990,601	▲133,880	744,658	▲245,943	729,608	▲15,050	▲438,869				

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

# 団体名 財団法人神戸国際観光コンベンション協会

		平成15年度		対前年		平成16年度		対前年		平成17年度		対前年		平成18年度		対前年		平成19年度		対前年		平成20年度		対前年		増減累計			
		127		▲5		129		▲2		127		▲2		89		▲38		88		▲1		89		1		▲43			
職員数																													
投資の状況及び環境変化等		<p>震災10年 神戸からの祭禮事業(平成16年12月～平成17年12月)</p> <p>水族園、国際金博覧場、国際展示場、金の湯、銀の湯の指定管理者となる。 国民宿舎(シーパル須磨)及びポートアイランドホール、神戸セミナーハウスの管理運営業務の終了</p>																											
経営改善・改革の内容		<p>観光部と経営推進部の業務再編(営業課を経営推進部署に)</p> <p>・希望退職者の募集(17年度末) ・観光部内に2課を新設</p> <p>・経営管理課廃止 ・市派遣職員の削減 ・KEMS(神戸市環境マネジメントシステム)導入</p>																											
正味財産増減		<p>中期経営計画(H19年度～H22年度) ・民間人材の活用などによるコンベンション誘致体制強化</p>																											
正味財産	▲42,434	▲2,667,585	▲85,031	▲42,597	▲133,033	▲48,002	18,121	151,154	410,146	392,025	▲2,215,005																		
市からの補助金	3,147,284	▲42,434	3,062,253	▲85,031	2,929,220	▲133,033	2,947,341	18,121	3,357,487	410,146	167,769																		
市からの委託料	50,092	▲74,516	60,070	9,978	74,332	14,282	109,773	35,441	101,000	▲8,773	▲23,608																		
	1,156,623	▲250,756	1,217,288	60,665	1,173,085	▲44,203	116,223	▲1,056,862	113,154	▲3,069	▲1,294,225																		

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、委託料はH14からH19の累計

団体名 財団法人神戸国際協力交流センター

年	単位:人、千円												
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	17	▲5	17	0	17	0	17	0	17	0	17	0	▲5
投資の状況及び環境変化等													
経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸国際交流プラザの規模縮小</li> <li>神戸アジア交流プラザ管理運営の民間委託</li> <li>運営課の統合</li> <li>事業の見直し(留学生国民健康保険料補助の廃止、国際交流員の廃止など)</li> <li>JICAなど神戸市補助金以外の財源の維持・拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多言語対応相談の開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区役所窓口での外国人市民来庁者支援の開始</li> <li>神戸国際交流プラザの廃止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の外国人市民支援体制の構築</li> <li>市派遣職員を嘱託職員に変更</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸アジア交流プラザ管理運営者公募</li> <li>ホームページの多言語生活情報の改訂</li> <li>日本語ボランティア養成講座の有料化</li> </ul>								
経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期経営計画(H14年度～H17年度)</li> <li>国際協力活動の更なる充実</li> <li>在住外国人等への様々な支援と多様な国際交流の場の創出</li> <li>経費削減と自主財源の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期経営計画(H14年度～H17年度)</li> <li>国際協力活動の更なる充実</li> <li>在住外国人等への様々な支援と多様な国際交流の場の創出</li> <li>経費削減と自主財源の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期経営計画(H18年度～H20年度)</li> <li>国際協力活動の更なる充実</li> <li>在住外国人等への様々な支援と多様な国際交流の場の創出</li> <li>経費削減と自主財源の確保</li> <li>市民ニーズに対応した新たな事業の取組み</li> </ul>										
正味財産増減	▲197	▲2,434	0	197	103	103	1,981	1,878	8,384	6,403			6,147
正味財産	304,533	▲197	304,533	0	304,636	103	306,617	1,981	315,001	8,384			10,271
市からの補助金	253,485	▲101,920	248,977	▲4,508	245,234	▲3,743	249,794	4,560	244,040	▲5,754			▲111,365
市からの受託料	496	▲2,626	496	0	496	0	496	0	496	0			▲2,626

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 財団法人神戸国際協力交流センター

団体名 株式会社有馬温泉企業

単位:人、千円

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	2	2	0	2	0	2	0	2	0	1	1	0	▲1
投資の状況及び環境変化等	有明2号泉原状回復工事		有明1号泉二重ケーシング工事		極楽泉源給湯施設運営業務開始				有明1号泉改良工事		有明2号泉改修工事		
経営改善・改革の内容									固有職員を人材派遣職員に変更				
経営改善・改革の内容									中期経営計画(H18年度～H21年度) ・各年度利益300万円を確保する。 ・安定配当(年20%)を継続実施する				
経営改善・改革の内容									中期経営計画(H20年度～H24年度) ・各年度利益300万円を確保する。 ・安定配当(年20%)を継続実施する。				
経常損益	1,380	▲ 579	6,936	5,556	5,422	▲ 1,514	4,721	▲ 701	4,626	▲ 95			2,667
当期損益	794	▲ 352	4,673	3,879	3,399	▲ 1,274	3,390	▲ 9	3,078	▲ 312			1,932
純資産額	25,908	▲ 21,205	28,581	2,673	29,980	1,399	31,370	1,390	32,449	1,079			▲ 14,664
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
市からの受託料	2,840	184	18,494	15,654	8,214	▲ 10,280	16,628	8,414	20,769	4,141			18,113
団体名 株式会社有馬温泉企業													
*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計													

団体名 財団法人こうべ市民福祉振興協会

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計	
職員数	149	▲3	145	▲4	125	▲20	109	▲16	74	▲35	72	▲2	▲80	
投資の状況及び環境変化等	<p>・しあわせの村保養センターひよどりの管理運営を受託(15年4月から)</p> <p>・サン舞子マンション北棟解体、用地売却(16年10月から)</p> <p>・垂水年金会館使用料の改定(16年10月から)</p> <p>・長寿祭の開催業務受託(16年4月から)</p> <p>・外都人材の登用(マリンホテルズから職員採用)</p> <p>・市派遣職員を固有職員等に更</p>			<p>・しあわせの村巡回バスの外都委託(17年4月から)</p> <p>・垂水海浜プール運営業務の一部外都委託(17年4月から)</p> <p>・国民年金友の会廃止(17年度末)</p> <p>・サン舞子マンションの管理運営の外都委託(17年4月から)</p> <p>・北棟跡地に社福によりケアハウス開設(17年10月)</p> <p>・ホームヘルプ事業終了方針決定、段階的に事業縮小(北区・西区からの撤退)</p> <p>・市派遣職員を固有職員等に更</p>	<p>・しあわせの村の指定管理者となる</p> <p>・介護保険法改正(予防重視型システムへの転換、新たなサービス体系の確立、サービスの質の確保向上など)</p>	<p>・しあわせの村宿泊施設等の管理運営業務を外都委託化(垂水海浜プール廃止(20年2月))</p> <p>・ホームヘルプ事業終了時期改定(18年4月から)、建設資金借入金の繰上償還(18年4月)</p> <p>・介護保険新規事業(認定調査業務、地域包括支援センターアハワズ開設(17年10月))</p> <p>・ヘルパー養成研修終了(18年度末)</p> <p>・市派遣職員を固有職員等に更</p>	<p>・ホームヘルプ事業終了</p> <p>・在宅支援課職員の処遇見直し</p> <p>・福祉機器展示コーナー事業者公募</p> <p>・期限付職員の採用</p> <p>・市派遣職員を固有職員等に更</p>	<p>・公益法人制度改革関連法施行</p>						
経営改善・改革の内容					<p>中期経営計画(H17年度～H19年度)</p> <p>・市民福祉の向上の実現に引き続き中心的作用を果たす。</p> <p>・指定管理者制度に前えらうる経営基盤を有する団体を目指す。</p> <p>・ホームヘルプサービスにおいて、公的な役割を果たしつつ、「利用者」に選ばれた事業者を</p>	<p>中期経営計画(H17年度～H19年度)</p> <p>・市民福祉の向上の実現に引き続き中心的作用を果たす。</p> <p>・指定管理者制度に前えらうる経営基盤を有する団体を目指す。</p> <p>・ホームヘルプサービスにおいて、公的な役割を果たしつつ、「利用者」に選ばれた事業者を</p>	<p>中期経営計画(H17年度～H19年度)</p> <p>・市民福祉の向上の実現に引き続き中心的作用を果たす。</p> <p>・指定管理者制度に前えらうる経営基盤を有する団体を目指す。</p> <p>・ホームヘルプサービスにおいて、公的な役割を果たしつつ、「利用者」に選ばれた事業者を</p>	<p>中期経営計画(H17年度～H19年度)</p> <p>・市民福祉の向上の実現に引き続き中心的作用を果たす。</p> <p>・指定管理者制度に前えらうる経営基盤を有する団体を目指す。</p> <p>・ホームヘルプサービスにおいて、公的な役割を果たしつつ、「利用者」に選ばれた事業者を</p>	<p>中期経営計画(H20年度～H22年度)</p> <p>市、事業者及び市民との協働の基盤を強化し、社会的・福祉的課題に応じた「市民福祉」事業を展開するとともに、しあわせの村において、総合的な福祉サービスの提供を推進し、公正かつ透明性のある運営をめざす。</p>					
正味財産増減	167,845	154,823	▲229,818	▲397,663	▲4,147	225,671	21,939	26,086	▲53,369	▲75,308			▲66,391	
正味財産	1,453,755	167,845	1,223,937	▲229,818	1,219,790	▲4,147	1,241,729	21,939	1,188,360	▲53,369			▲97,550	
市からの補助金	459,110	▲161,002	437,110	▲22,000	369,551	▲67,559	224,175	▲145,376	216,088	▲8,087			▲404,024	
市からの受託料	2,176,805	▲141,273	1,961,189	▲215,616	1,890,648	▲70,541	2,190,949	300,301	2,082,810	▲108,139			▲235,288	

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計



# 団体名 財団法人神戸市障害者スポーツ協会

単位:人、千円

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	8	▲1	8	8	0	8	0	8	0	8	0	8	▲1
投資の状況及び環境変化等	指定管理の実施により、スポーツセンターの管理運営事業から外れる。												
経営改善・改革の内容	<p>市社協と連携して障害者文化振興及び新基金による障害者スポーツの地域への展開を進めるために、市社協事務局長を当協会事務局長として兼務発令。</p> <p>中期経営計画(H18年度～H21年度) ・障害者のスポーツの裾野拡大と活動の場の拡充 ・障害者のスポーツ競技水準の向上等</p>												
正味財産増減	1,048	▲ 1,118	▲ 195	▲ 1,243	▲ 950	▲ 755	542	1,492	1,265	723	▲ 901		
正味財産	116,454	1,049	116,259	▲ 195	115,309	▲ 950	115,851	542	117,116	1,265	1,711		
市からの補助金	57,159	▲ 23,467	66,686	9,527	66,932	246	98,406	31,474	99,667	1,261	19,041		
市からの受託料	149,335	▲ 578	147,412	▲ 1,923	149,736	2,324	0	▲ 149,736	0	0	▲ 149,913		

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 財団法人神戸市障害者スポーツ協会

団体名 財団法人神戸市地域医療振興財団

		単位:人、千円											
年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	655	対前年	658	対前年	658	対前年	681	対前年	687	対前年	680	対前年	▲7
投資の状況及び環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭・頸部血管造影線診断装置更新</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>全身用コンピュータ断層撮影装置更新</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>西館建設</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>救急外来改修</li> <li>化学療法センター設置</li> <li>デジタルX線撮影システム更新</li> <li>施設保全計画実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>放射線治療計画装置更新</li> </ul>				
経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者満足度調査の開始</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬改定(▲10%)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>再来受付機、診療順番表示機設置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬改定(▲3.16%)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>経営改善委員会設置・開催</li> <li>外来院外処方実施</li> <li>病院機能評価更新受審</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬改定(▲0.82%)</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>中期経営計画(H12年度～H16年度)</li> <li>急性期病院としての役割・使命を果たす</li> <li>健全な経営基盤の確立等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中期経営計画(H17年度～H20年度)</li> <li>患者満足度の向上</li> <li>急性期病院としての医療の質の向上等</li> </ul>										
正味財産増減	529,921	▲6,241	608,832	78,911	512,815	▲96,017	96,862	▲415,953	36,138	▲60,724			▲500,024
正味財産	2,155,874	529,921	2,764,706	608,832	3,277,522	512,816	3,374,384	96,862	3,410,521	36,137			1,784,568
市からの補助金	1,090,402	▲72,025	1,126,798	36,394	981,714	▲145,082	1,097,862	116,148	1,077,035	▲20,827			▲85,392
市からの受託料	739	0	739	0	739	0	739	0	739	0			0

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

# 団体名 財団法人神戸在宅ケア研究所

単位：人、千円

	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	279	▲	288	9	288	0	308	308	326	18	343	17	59
投資の状況及び環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護報酬改定(▲2.3%)</li> <li>・診療報酬改定(▲1.05%) (薬価▲1.05%)</li> <li>・老人健康センターを指定管理施設として運営開始(老人保健施設事業)</li> <li>・東灘、しあわせの村の2か所で地域包括支援センター運営業務を受託(在宅介護支援事業)</li> <li>・診療報酬改定(▲3.16%)、リハビリテーション料の疾患別算定日数上限設定、集団療法廃止等)</li> <li>・介護報酬改定(▲0.5%〔17年10月改定を含めた場合▲2.4%〕)</li> <li>・回復期リハビリテーション病棟入院料施設基準を第3病棟で取得(病院事業)</li> <li>・回復期リハビリテーション病棟入院料施設基準を第4病棟で取得(病院事業)</li> <li>・入院患者への土曜日のリハビリテーション開始(病院事業)</li> </ul>												
経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回復期リハビリテーション病棟入院料施設基準を第3病棟で取得(病院事業)</li> <li>・回復期リハビリテーション病棟入院料施設基準を第4病棟で取得(病院事業)</li> <li>・入院患者への土曜日のリハビリテーション開始(病院事業)</li> <li>・訪問看護事業において人材育成、訪問リハビリの充実</li> <li>・病院におけるセラピストの体制強化、土日リハビリの充実等</li> </ul>												
正味財産増減	167,019	66,225	126,854	▲40,165	108,749	▲18,105	34,535	▲74,214	155,484	120,949	54,690		54,690
正味財産	1,131,854	167,018	1,258,707	126,853	1,367,456	108,749	1,401,991	34,535	1,557,475	155,484	592,639		592,639
市からの補助金	94,126	▲35,274	87,856	▲6,270	81,178	▲6,678	83,987	2,809	71,085	▲12,902	▲58,315		▲58,315
市からの受託料	65,065	▲152,744	78,346	13,281	73,981	▲4,365	85,960	11,979	85,551	▲409	▲132,258		▲132,258

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 財団法人神戸在宅ケア研究所

団体名 財団法人兵庫県予防医学協会

年	単位:人、千円													
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計	
職員数	144	▲2	146	▲2	153	▲1	152	▲1	153	▲1	153	0	7	
投資の状況及び環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸市市民健診事業の全面受託開始</li> <li>新館用地(1期 806m<sup>2</sup>)の取得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「政府管掌健康保険・健診機関」の再指定</li> <li>神戸市乳がん検診の受託開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「政府管掌健康保険・健診機関」の再指定</li> <li>神戸市乳がん検診の受託開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康ライブラザ指定管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新健診制度への移行に伴え新館建設事業を21年度以降に延期</li> <li>住民健診事業の受託終了(19年度末)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新健診制度の実施</li> <li>神戸市市民健診事業の受託開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新健診制度への移行に伴う事業量の減への対応</li> </ul>							
経営改善・改革の内容			健康ライブラザ健診部門の自主事業化、市補助金の4割削減(164,932千円→100,000千円)				<ul style="list-style-type: none"> <li>新館整備基本構想の策定、基本設計の実施</li> <li>KEMS(神戸市環境マネジメントシステム)導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康ライブラザトレーニングの開始</li> <li>定額料金の改定</li> <li>機器更新等リニューアルの実施</li> </ul>						
正味財産増減	116,565	▲38,947	▲587	▲117,152	52,471	53,058	48,992	▲3,479	610,861	561,869			455,349	
正味財産	2,507,782	116,565	2,597,195	89,413	2,597,195	0	2,608,658	11,463	3,219,519	610,861			828,302	
市からの補助金	166,648	▲33,983	109,985	▲56,663	108,624	▲1,361	107,190	▲1,434	107,465	275			▲93,166	
市からの受託料	955,626	298,926	945,969	▲9,657	1,066,563	120,594	1,123,229	56,666	1,185,793	62,564			529,093	
<p>中期経営計画(H14年度～H16年度) 中期経営計画(H17年度～H19年度)</p> <p>・税引前収支差 1億円 税引前収支差 1.5億円</p> <p>・健康ライブラザの黒字化</p>														
<p>団体名 財団法人兵庫県予防医学協会</p> <p>*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計</p>														

# 団体名 社会福祉法人神戸市社会福祉協議会

		平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計				
年職員数		348	▲	330	▲	311	▲	277	▲	280	▲	263	▲	▲ 85				
投資の状況及び環境変化等		<p>平成15年度 348 対前年 ▲</p> <p>平成16年度 330 対前年 ▲ 18                      ・児童館5施設管理終了</p> <p>平成17年度 311 対前年 ▲ 19                      ・在宅福祉センター3施設管理終了                      ・児童館3施設管理終了</p> <p>平成18年度 277 対前年 ▲ 34                      指定管理開始 93施設                      【総合福祉C                      とうべ市民福祉交流C、                      在宅福祉C(5)、                      点字図書館、                      総合児童館、                      山の街福祉C、                      児童館(83)】                      ・介護保険制度改正(介護予防事業の創設等)により、介護報酬の引き下げが行われた。                      ・児童館7施設管理終了</p> <p>平成19年度 280 対前年 ▲ 3                      児童館6施設管理終了</p> <p>平成20年度 263 対前年 ▲ 17                      児童館5施設管理終了</p>																
経営改善・改革の内容		<p>平成16年度 330 対前年 ▲ 18                      ・市OB嘱託館長報酬の引き下げ</p> <p>平成17年度 311 対前年 ▲ 19                      ・精励手当の廃止                      ・早期希望退職制度の導入                      ・福利厚生制度の見直し(慰安金・永年勤続表彰)                      ・児童館指導員の主事職(事務)への配置転換                      ・市派遣職員の固有職員への変更</p> <p>平成18年度 277 対前年 ▲ 34                      ・ケアマネジメント手当見直し                      ・高齢者雇用安定法改正に伴う再雇用制度の導入                      ・区社協基金の解消(13.5億⇒9億市へ、4.5億市社協新基金化)</p> <p>平成19年度 280 対前年 ▲ 3                      ・区社協固有職員の受け入れ(+9)</p> <p>平成20年度 263 対前年 ▲ 17                      ・指導員館員手当の廃止                      ・査定昇給制度の実施                      ・市派遣職員の市OB嘱託への変更                      ・理事・評議委員数の整理(80人⇒52人)</p>																
正味財産増減		293,850	▲	841,383	▲	45,096	▲	248,754	▲	56,717	▲	11,821	▲	977,284	▲	1,204,874	▲	319,943
正味財産		4,130,444	▲	293,850	▲	4,175,540	▲	45,096	▲	4,232,257	▲	56,717	▲	5,209,542	▲	4,981,952	▲	227,590
市からの補助金		658,359	▲	112,317	▲	664,421	▲	6,062	▲	663,432	▲	989	▲	780,781	▲	690,159	▲	90,622
市からの受託料		2,495,524	▲	278,377	▲	2,697,243	▲	201,719	▲	2,620,987	▲	76,256	▲	2,614,830	▲	2,599,061	▲	15,769
*増減累計はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計																		
団体名 社会福祉法人神戸市社会福祉協議会																		

# 団体名 クリーン神戸リサイクル株式会社

単位:人、千円

年 職員数	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
	199	3	189	▲10	158	▲31	147	▲11	135	▲12	143	8	▲53
投資の状況及び環境 変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系し尿収集業務廃止 (民間業者許可制移行)</li> <li>・北・西区家庭系し尿収集業務開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空缶リサイクルセンター管理業務終了</li> <li>・小学校空缶回収業務廃止</li> <li>・し尿収集運搬業務廃止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンセンター小修繕業務開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンセンター料金徴収業務開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・淡河環境センター理立地管理業務開始</li> </ul>								
25			<ul style="list-style-type: none"> <li>・嘱託社員の管理職手当、精勤手当、年末繁忙手当廃止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KEMS(神戸市環境マネジメントシステム)導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ開設</li> <li>・産業廃棄物収集運搬業務について提携する業界と運用開始</li> <li>・年末特別作業手当廃止</li> </ul>								
経営改善・改革の内容													
経常損益	9,722	▲37,728	▲1,522	▲11,244	54,191	55,713	59,202	5,011	108,110	48,908			60,660
当期損益	3,797	▲18,349	▲4,697	▲8,494	30,278	34,975	34,676	4,398	61,982	27,306			39,836
純資産額	267,925	17,785	263,228	▲4,697	281,106	17,878	315,782	34,676	377,764	61,982			127,624
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
市からの受託料	1,057,871	▲85,956	981,812	▲76,059	895,054	▲86,758	901,322	6,268	933,063	31,741			▲210,764

\*増減累計はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 クリーン神戸リサイクル株式会社

団体名 財団法人神戸市産業振興財団

		単位:人、千円											
年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	57	▲10	56	▲1	42	▲14	44	2	44	0	47	3	▲20
投資の状況及び環境変化等					神戸市産業振興センターの指定管理者に選定される	神戸市のづくり復興工場及び神戸フアッション美術館の指定管理者に選定される	神戸ゆかりの美術館の学芸業務等を受託		シエトロ神戸FAZ支援センターの廃止				
経営改善・改革の内容			民間人材の活用等による減		相談窓口を神戸商工会議所中央支所に一元化	相談窓口を引き続いて民間人材を理事専任に迎える	前理事専任に引き続いて民間人材に民間人材を登用	神戸フアッション美術館の館長に民間人材を登用					
					神戸フアッション美術館の機能を見直しフアッション振興の視点として新たな運営を目指す	神戸フアッション美術館の機能を見直しフアッション振興の視点として新たな運営を目指す	会津堂等の受付事務を民間業者に委託	固有職員の勤務条件の見直し					
正味財産増減	▲1,551	▲7,950	7,795	9,346	44,914	37,119	▲33,416	▲78,330	43,092	76,508			36,693
正味財産	675,626	▲1,551	683,421	7,795	728,335	44,914	694,919	▲33,416	738,011	43,092			60,834
市からの補助金	420,774	▲150,172	388,890	▲31,884	452,632	63,742	451,160	▲1,472	439,542	▲11,618			▲131,404
市からの受託料	874,470	▲182,970	843,309	▲31,161	723,482	▲119,827	736,834	13,352	668,934	▲67,900			▲388,506

中期経営計画(H19年度～H21年度)  
 ・中小企業支援ネットひょうご連携した窓口相談の実施  
 ・ドリームキャッチプロジェクトの推進  
 ・神戸せしぐしプロジェクトの推進

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 財団法人神戸市産業振興財団

団体名 財団法人神戸みりの公社

年	単位:人、千円												
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	148	▲19	137	▲11	128	▲9	82	▲46	83	1	73	▲10	▲94
投資の状況及び環境変化等			<ul style="list-style-type: none"> <li>自然休養村管理終了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水産体験学習館の指定管理者となる</li> <li>農業公園無料開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>須磨・平磯海づり公園、六甲山牧場の指定管理者となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸市より追加出捐</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酒販免許取得</li> <li>市民農園管理終了</li> </ul>						
経営改善-改革の内容			<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイン事業本部設置 企画課、営業課、製造課</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望退職者募集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人材マネジメント(能力評価制度)の導入</li> <li>ワイン事業部企画課廃止</li> <li>海浜事業部管理課設置</li> <li>農業公園ホテル・レストラン運営休止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイン事業部と農産部をワイナリー一部へ統合</li> <li>経営企画課廃止</li> <li>六甲山牧場資産を神戸市に売却</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>希望退職者募集</li> <li>有機農業センター事業を譲渡</li> <li>農業公園売店を自主運営</li> </ul>						
経常損益	▲271,090	129,844	▲355,403	▲84,313	▲402,370	▲46,967	▲19,720	382,650	6,414	26,134		407,348	
当期損益	▲271,090	129,844	▲355,403	▲84,313	▲402,370	▲46,967	▲19,720	382,650	6,414	26,134		407,348	
純資産	▲446,005	▲271,091	▲801,408	▲355,403	▲1,203,778	▲402,370	▲1,223,498	▲19,720	12,917	1,236,415		187,831	
市からの補助金	420,067	▲86,457	465,390	45,323	417,509	▲47,881	121,376	▲296,133	121,286	▲90		▲385,238	
市からの受託料	732,955	▲1,694,181	640,079	▲92,876	614,510	▲25,569	187,399	▲447,111	198,978	31,579		▲2,228,158	

中期経営計画(H16年度~H18年度)  
 ・組織改革による人員削減  
 ・人材マネジメント制度の導入

中期経営計画(H19年度~H21年度)  
 ・ワイン事業での生産調整等

団体名 財団法人神戸みりの公社

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計



団 体 名 株 式 会 社 神 戸 ワ イ ン

単位：人、千円

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	63	▲5	63	0	63	0	50	▲13	56	6	53	▲3	▲15
投資の状況及び環境変化等	・パターゴルフ場改修		・年間バスポートの販売開始				・フルーツクラブ（パークの指定管理者となる）				・開園15周年 ・カリン価格の高騰 ・株価急落による消費低迷 ・駐車場無料化の試行		
経営改善・改革の内容			・総務部・農業公園部統合	・希望退職者の募集		・人材マネジメント（能力評価制度）の導入 ・奉仕員制度の導入 ・指定管理提案書に基づき組織改編		・本社機能移転			・希望退職者の募集		
経常損益	▲17,896	87,222	▲37,111	▲19,215	▲32,368	4,743	▲129,438	▲97,070	▲105,970	23,468			▲852
当期損益	▲20,648	480,983	▲43,946	▲23,298	▲107,127	▲63,181	▲141,177	▲34,050	▲120,434	20,743			381,197
純資産額	▲2,417,642	▲20,648	▲2,461,588	▲43,946	▲2,568,715	▲107,127	▲2,709,892	▲141,177	▲2,830,327	▲120,435			▲433,333
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
市からの受託料	0	0	0	0	0	0	448,737	448,737	442,102	▲6,635			442,102
<p>団 体 名 株 式 会 社 神 戸 ワ イ ン</p> <p>中期経営計画(H16年度～H18年度) ・組織改革による人員削減 ・人材マネジメント制度の等</p> <p>中期経営計画(H19年度～H21年度) ・施設全体のイメージアップ、近隣施設との連携 ・専業規模の適正化、民間ノウハウの導入等</p> <p>*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計</p>													

団体名 株式会社神戸商工貿易センター

単位:人、千円

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	40		44		44		40		44		36		▲4
投資の状況及び環境変化等	<p>[貿易センター] ESCO事業(総額17億円)開始</p> <p>[貿易センター] ESCO事業完成</p> <p>[貿易センター] 空調設備更新事業開始</p>												
経営改善・改革の内容	<p>総務部門強化</p> <p>[ファッションマーケット] 平均人居率向上 69.7%→80.0% ・インターネットの活用を含めた誘致活動の強化、既存テナントへの増床の働きかけ、ベンチャー企業への各種支援などの積極展開。</p> <p>[貿易センター] 経営会議の設置 ・ファッションマーケットの受付業務の外部委託化 ・人事考課制度を全社で導入</p> <p>[貿易センター] 平均人居率向上 74.2%→82.3% ・神戸市企業誘致推進本部との連携、仲介会社の活用、ダイレクトメール送付など幅広い情報収集と誘致活動を展開。 [ファッションマーケット] 業務分担見直しによる効率化</p> <p>[貿易センター] 給与制度改定</p> <p>中期経営計画(H16年度～H18年度) ・ESCO事業等の実施によるコスト削減 ・事業部制の採用等</p> <p>中期経営計画(H19年度～H21年度) ・空調設備等設備の更新等</p>												
経常損益	238,822	▲ 62,995	280,622	41,800	289,321	8,699	419,834	130,513	450,288	30,454	148,471		
当期損益	121,323	12,830	116,189	▲ 5,134	160,088	43,899	202,046	41,958	248,071	46,025	139,578		
純資産額	4,163,305	121,324	4,279,493	116,188	4,439,582	160,089	4,641,629	202,047	4,739,700	98,071	697,719		
市からの補助金	283,350	283,350	288,700	▲ 14,650	1,750	▲ 266,950	0	▲ 1,750	0	0	0		
市からの受託料	42,875	11,292	19,003	▲ 23,872	10,447	▲ 8,556	9,524	▲ 923	9,524	0	▲ 22,059		

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 株式会社神戸商工貿易センター

# 団体名 くのまちながた神戸株式会社

単位：人、千円

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	3	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0	3	0
投資の状況及び環境変化等	・神戸ながた手作り工房をオープン			・神戸ながた手作り教室を立ち上げ			・オーブンスペース(共用部)に、インキュベーションオフィスを2室増設した(入居12社→14社に)		・神戸シューズ・ショールームを開設した(38ブース)				
経営改善・改革の内容	・組織変更により部長を廃止し、課長を配置。					・市の委託事業として神戸シューズ情報ネットをスタート	・経営の厳しい直営売上歩合制店舗の一部を廃止 ・販売員の効率的配置を実施	・神戸ながたTMO、新成田まちづくり、神戸商工会議所とともに新成田地域ぐるみ活性化連合の協定を締結 ・経営改善に向けた抜本的改革を進めるため、シューズプラザのありかたについての検討会を神戸市と共に開催。 ・販売員の効率的配置を実施。					
経常損益	▲37,300	5,927	▲36,752	548	▲13,628	23,124	▲12,233	1,395	▲13,624	▲1,391	/		29,503
当期損益	▲38,250	7,472	▲37,702	548	▲698,795	▲661,093	▲28,156	670,639	▲15,251	12,905	/		30,471
純資産額	1,357,358	▲38,250	1,319,656	▲37,702	620,861	▲698,795	592,704	▲28,157	577,454	▲15,250	/		▲818,154
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	4,834	4,016	▲818	/		0
市からの受託料	0	0	0	0	0	0	4,834	4,834	4,016	▲818	/		4,016

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 くのまちながた神戸株式会社

# 団体名 株式会社神戸国際会館

単位:人、千円

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計	
	24	▲1	23	▲1	23	▲1	21	▲2	23	2	24	1	▲1	
職員数														
投資の状況及び環境変化等					<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設平成17年4月29日リニューアルオープン。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸ポータルアイランドホール(ワールド記念ホール)は神戸市体育協会と明石市の市民会館他3施設に神戸新聞社グループと共同で指定管理者に決定。</li> </ul>								
経営改善・改革の内容			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホール事業収支改善</li> <li>・自主公演の厳選等</li> <li>・早期退職制度導入</li> <li>・委託契約の見直し</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業施設閉業6年目のリニューアル</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰越損失解消。</li> </ul>						
			中期経営計画(H16年度～H19年度) ・繰越損失の解消(H20年度)→H19年度で達成											
経常損益	165,681	55,886	232,550	66,869	402,864	170,314	496,921	94,057	536,768	39,847			426,973	
当期損益	164,731	57,071	224,512	59,781	371,224	146,712	384,994	13,770	314,867	▲70,127			207,207	
純資産額	2,184,521	164,732	2,409,033	224,512	2,780,257	371,224	3,165,251	384,994	3,480,118	314,867			1,460,329	
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	
市からの受託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 株式会社神戸国際会館

団体名 神戸市道路公社

年	単位:人、千円												
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	66	▲66	0	▲61	61	▲5	58	▲3	52	▲6	55	▲3	▲11
投資の状況及び環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新神戸トンネルⅡ期事業の推進。</li> <li>・神戸駅南駐車場社会実験実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新神戸トンネル天井版撤去工事。</li> <li>・アスベスト撤去工事。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新神戸トンネル(Ⅱ期)事業の完了等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・六甲トンネル南料金所の移設および撤去。</li> <li>・六甲トンネル北料金所のETC、料金所等の整備。</li> <li>・西神戸有料道路移管関連事務及び工事の推進。</li> <li>・北神戸線との連続利用割引社会実験開始。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西神戸有料道路(在来線)の神戸市移管。同料金所の廃止。</li> <li>・山麓ハイパス天王谷料金所ETC整備(全線整備完了)。通行料金の変更。</li> <li>・箕谷駐車場の料金改定。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ETC後方業務の開始。回数券の廃止。</li> <li>・ETCマイレージサービス等の開始。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本社事務所の規模縮小等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中期経営計画(H19年度～H21年度)</li> <li>・橋梁耐震補強、交通事故防止対策の実施</li> <li>・効率的な組織編成と人員配置の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・▲58,243</li> <li>・6,580,000</li> <li>・0</li> <li>・0</li> </ul>				
経営改善・改革の内容			<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務課廃止</li> <li>・建設事業の進捗に伴う派遣職員削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大倉山駐車場の指定管理者制度の準用開始</li> <li>・二輪専用ETC運用開始</li> <li>・荒田公園駐車場車庫的利用の試行実施</li> <li>・庶務事務等の効率化による派遣職員削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公社3駐車場の指定管理者制度の準用開始</li> <li>・道路管理業務の効率化に伴う派遣職員削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3,885,609</li> <li>18,599</li> <li>52,359,500</li> <li>0</li> <li>0</li> <li>0</li> <li>▲60,872</li> <li>▲60,872</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲160,897</li> <li>▲146,740</li> <li>735,000</li> <li>60,872</li> <li>60,872</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3,887,010</li> <li>▲146,740</li> <li>52,359,500</li> <li>0</li> <li>0</li> <li>0</li> <li>60,872</li> <li>60,872</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▲58,243</li> <li>6,580,000</li> <li>0</li> <li>0</li> </ul>				
償還準備金繰入額	4,018,262	74,410	4,174,447	4,027,707	▲146,740	3,887,010	▲160,897	3,885,609	18,599	▲58,243	▲58,243	▲58,243	
純資産額	47,704,500	1,925,000	49,979,500	51,624,500	1,645,000	52,359,500	735,000	52,359,500	0	0	6,580,000	6,580,000	
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市からの受託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲60,872	▲60,872	▲60,872	

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 神戸市道路公社

団体名 財団法人神戸市公園緑化協会

年	単位:人、千円										増減累計		
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年		平成20年度	対前年
職員数	225	▲23	215	▲10	193	▲22	148	▲45	131	▲17	125	▲6	▲123
投資の状況及び環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>グリーンアリーナ神戸レポートの管理運営業務の委託</li> <li>リニアセンターを業務委託から管理許可方式へ変更</li> <li>青山管理業務の終了</li> <li>総合運動公園コンピニエンスストア設置</li> <li>神戸市外大樹木管理業務の終了</li> <li>須磨離宮公園、森林植物園、総合運動公園の指定管理者となる</li> <li>相楽園、布引ハーブ園及び北神戸田園スポーツ公園の管理運営業務の終了</li> <li>公園補修業務の受託</li> <li>動物園売店業務の経営委託</li> <li>須磨浦公園駐車場の管理運営業務の委託</li> <li>動物園売店業務への移行による組織体制の見直しによる職員削減</li> <li>指定管理者制度への移行による組織体制の見直しによる職員削減</li> <li>動物園内でのレストラン新規経営による自主財源の確保</li> <li>アジニール舞子での売店の運営見直し・安定収入の確保</li> <li>（歩合一定額賞料）</li> <li>総合運動公園の組織体制の見直しによる職員削減</li> </ul>												
経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>再度公園駐車場・貸しポートの管理運営業務の委託</li> <li>華水健康公園の平日の利用促進（駐車場料金の見直し）</li> <li>総合運動公園のコンピニエンスストア設置による来園者の利便性向上と新たな収入の確保</li> <li>KEMS(神戸市環境マネジメントシステム)導入</li> <li>動物園売店業務の経営委託</li> <li>須磨浦公園駐車場の管理運営業務の委託</li> <li>動物園内でのレストラン新規経営による自主財源の確保</li> <li>アジニール舞子での売店の運営見直し・安定収入の確保</li> <li>（歩合一定額賞料）</li> <li>総合運動公園の組織体制の見直しによる職員削減</li> </ul>												
経常損益	8,115	▲1,115	9,878	1,763	16,691	6,813	73,627	56,936	30,012	▲43,615			20,782
当期損益	4,439	81	3,726	▲713	9,239	5,513	40,717	31,478	21,986	▲18,731			17,628
純資産額	154,912	4,439	158,638	3,726	167,878	9,240	208,594	40,716	230,580	21,986			80,107
市からの補助金	669,258	▲77,579	655,486	▲13,772	665,527	10,041	159,122	▲506,405	159,748	676			▲587,089
市からの受託料	1,576,962	▲261,210	1,460,203	▲116,759	1,438,475	▲21,728	1,489,635	51,160	1,528,151	38,516			▲310,021
<p>団体名 財団法人神戸市公園緑化協会</p> <p>*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金・受託料はH14からH19の累計</p>													

団体名 神戸地下街株式会社

単位:人、千円

年	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度		増減累計
	83	▲8	80	▲3	51	▲29	49	▲2	48	▲1	48	▲0	
職員数													▲43
投資の状況及び環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神戸駅南駐車場上限料金設定(7月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんちか女子専用トイレ改装</li> <li>・三宮、三宮中央通り、花隈駐車場上限料金設定(4月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さんちか40周年リニューアル工事</li> <li>・さんちか開業40周年</li> <li>・三宮中央歩道橋完成</li> <li>・指定管理者制度導入(4月)三宮、三宮中央通り、神戸駅南、花隈駐車場の管理から花隈駐車場のみの管理へ</li> </ul>										<ul style="list-style-type: none"> <li>・デュオリニューアル(市ハスターミナル下等)</li> </ul>
経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業強化対策</li> <li>・家賃収入の減少を抑えるため、社内体制の強化を図るため店舗開発専門の委託</li> <li>・社員を正社員として登用し、退店等の店舗入替時のロス抑制と集客力の向上を図る。</li> <li>・設備管理業務の委託化</li> <li>・管理体制のスリム化を図る。</li> <li>・維持管理経費の見直し</li> <li>・業者選定委員会を通じ工事費の一層の節減を図る。</li> </ul>												<ul style="list-style-type: none"> <li>・KEMS(神戸市環境マネジメントシステム)導入</li> </ul>
経常損益	292,102	50,027	209,996	▲82,106	278,843	68,847	339,727	60,884	331,157	▲8,570			89,082
当期損益	50,059	142	51,017	958	54,556	3,539	68,323	13,767	46,768	▲21,555			▲3,149
純資産額	282,084	39,129	322,171	40,087	365,798	43,627	423,191	57,393	459,029	35,838			216,074
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
市からの受託料	458,610	▲78,367	432,484	▲28,146	258,868	▲173,596	204,317	▲54,551	203,386	▲931			▲333,591
<p>中期経営計画(H16年度～H18年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産事業収入 2006年度の2%増</li> <li>・営業費用 2006年度の2%減</li> <li>・営業施設売上 2006年度の7%増</li> </ul>													
<p>中期経営計画(H19年度～H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・不動産事業収入 2006年度の2%増</li> <li>・営業費用 2006年度の2%減</li> <li>・営業施設売上 2006年度の7%増</li> </ul>													
<p>*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計</p>													

団体名 神戸地下街株式会社

団体名 財団法人神戸市都市整備公社

年	平成15年度		対前年		平成16年度		対前年		平成17年度		対前年		平成18年度		対前年		平成19年度		対前年		平成20年度		対前年		増減累計				
	387	▲ 24	368	▲ 19	355	▲ 13	336	▲ 19	311	▲ 25	309	▲ 2	25	311	▲ 2	25	309	▲ 2	25	311	▲ 2	25	309	▲ 2		▲ 102			
職員数	北野工場のまちオープン																												
投資の状況及び環境変化等	<p>・六甲有馬ロープウェイ-表六甲線 休止</p> <p>・指定管理の実施により、公共管理の施設により、こうべまちづくり会館の管理運営を行う</p> <p>・指定管理の実施により、農業集落排水処理施設の管理運営を行う</p> <p>・指定管理の実施により、自転車駐留場(中部・西部・西・北各建設事務所管内)の管理運営を行う</p> <p>・整備公社と住宅供給公社の駐留場事業統合</p> <p>・整備公社並びに土地開発公社と住宅供給公社の総務部門を統合、総務部を新設</p>																												
経営改善・改革の内容	<p>・工務課と開発課を統合、都市整備課とした</p> <p>・中期経営方針(H13年度～H17年度)：整備公社・土地開発公社共通、H17年度から中期経営方針へ</p> <p>・市と一体となった市民サービス提供</p> <p>・経営基盤の安定化</p>																												
経常損益	154,700	141,683	195,917	41,217	245,504	49,587	286,578	23,074	200,130	▲ 68,448	200,130	▲ 68,448	1,613,302	200,131	0	6,349,423	▲ 833,726	200,130	▲ 68,448	200,130	▲ 68,448	1,613,302	200,131	0	6,349,423	▲ 833,726	187,113		
当期損益	154,700	141,683	195,917	41,217	245,504	49,587	286,578	23,074	200,130	▲ 68,448	200,130	▲ 68,448	1,613,302	200,131	0	6,349,423	▲ 833,726	200,130	▲ 68,448	200,130	▲ 68,448	1,613,302	200,131	0	6,349,423	▲ 833,726	187,113		
純資産額	550,173	154,700	899,090	348,917	1,144,593	245,503	1,413,171	268,578	1,413,171	268,578	▲ 59,713	0	▲ 59,713	0	▲ 59,713	0	▲ 59,713	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,217,829
市からの補助金	49,952	▲ 2,554,336	53,307	3,355	59,713	6,408	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	▲ 2,604,288	
市からの受託料	8,491,888	227,425	6,977,878	▲ 1,514,010	7,519,949	542,071	7,183,149	▲ 336,800	7,183,149	▲ 336,800	7,183,149	▲ 336,800	7,183,149	▲ 336,800	7,183,149	▲ 336,800	7,183,149	▲ 336,800	7,183,149	▲ 336,800	7,183,149	▲ 336,800	7,183,149	▲ 336,800	7,183,149	▲ 336,800	7,183,149	▲ 1,915,040	
<p>中期経営方針(H19年度～H21年度)：整備公社・住宅供給公社・土地開発公社共通</p> <p>・引き継ぎ前純利益を3年間合計で5億円</p>																													

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 財団法人神戸市都市整備公社



団体名 神戸市住宅供給公社

		単位:人、千円												
		平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
		197	▲ 29	187	▲ 10	207	20	214	7	175	▲ 39	183	8	▲ 43
職員数														
投資の状況及び環境変化等														
経営改善・改革の内容	<p>公社財務改善緊急2か年計画(H14年度～H15年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成在庫の早期処分</li> <li>・後年度事業用地の早期処分</li> <li>・特定優良賃貸住宅事業の収支改善</li> </ul>													
	<p>整備公社並びに土地開発公社と住宅供給公社の総務部門統合、総務部を新設</p> <p>・整備公社と住宅供給公社の技術部門統合により3公社の統合完了</p> <p>・こうべまちづくりセンターと神戸市すまいるの安心支援センターを統合する、すまいる・まちづくり本部設置</p> <p>・市営住宅管理業務を管理代行・指定管理者制度による運営開始</p>													
	<p>・整備公社と住宅供給公社の駐車場事業統合</p> <p>・中期経営計画(H16年度～H18年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務改善緊急2か年計画で残された課題の解決を図り、財務再建の目的</li> <li>・公社の健全な経営基礎確立のために必要な収益目標を設定等</li> </ul>													
経常損益		▲ 159,559	▲ 733,782	464,768	624,327	857,963	393,195	525,220	▲ 332,743	158,428	▲ 366,792			▲ 415,795
当期損益		▲ 9,165,674	▲ 9,258,693	338,582	9,504,256	1,096,974	788,392	845,016	▲ 251,958	366,504	▲ 478,512			273,485
純資産額		▲ 6,417,500	▲ 8,597,520	▲ 4,980,267	1,437,233	▲ 3,883,293	1,096,974	▲ 3,038,277	845,016	▲ 2,671,773	366,504			▲ 4,851,793
市からの補助金		1,485,732	1,182,272	1,428,705	▲ 57,027	1,512,813	84,108	1,318,703	▲ 194,110	1,030,099	▲ 288,604			726,639
市からの委託料		4,640,396	▲ 1,430,967	4,165,379	▲ 475,017	5,366,350	1,200,971	6,392,359	1,026,009	6,326,082	▲ 66,277			254,719

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、委託料はH14からH19の累計

団体名 神戸市住宅供給公社

団体名 神戸市土地開発公社

		単位:人、千円												
年	職員数	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
		68	▲3	61	▲7	58	▲3	58	▲3	56	▲2	57	▲1	▲8
投資の状況及び環境変化等								・新名神あっせん事業受託開始						
経営改善・改革の内容		・用地部門3係から2係へ		・事業の進捗に伴う用地部門の減員 ・整備公社並びに土地開発公社と住宅供給公社の総務部門統合、総務部を新設		・事業の進捗に伴う用地部門の減員		・用地部門 公有地取得事業の減員 ・新名神建設用地買収業務のため増員 ・整備公社と住宅供給公社の技術部門統合により3公社の統合完了						
		中期経営方針(H13年度～H17年度から次期中期経営方針へ) ・市と一体となった市民サービスの提供 ・経営基盤の安定化		中期経営方針(H17年度～H19年度から次期中期経営方針へ) ・単年度収支の均衡を目指す		中期経営方針(H17年度～H19年度から次期中期経営方針へ) ・単年度収支の均衡を目指す		中期経営計画(H19年度～H21年度;整備公社・住宅供給公社・土地開発公社共通) ・収支均衡を図る						
経常損益		42,277	6,871	18,188	▲24,089	55,893	37,505	78,787	23,094	205,290	126,503			169,884
当期損益		42,277	6,871	18,188	▲24,089	55,893	37,505	78,787	23,094	205,290	126,503			169,884
純資産額		525,327	42,277	543,514	18,187	599,208	55,894	677,994	78,786	883,284	205,290			400,234
市からの補助金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
市からの委託料		7,769	▲7,825	0	▲7,769	0	0	0	0	0	0			▲15,594

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、委託料はH14からH19の累計

団体名 神戸市土地開発公社

団体名:神戸ハーバーランド株式会社

年	単位:人、千円						増減累計
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	
職員数	16	▲1	15	▲1	16	▲1	▲6
投資の状況及び環境変化等	<p>・IT化の進展に合わせた「あじさいネット」のシステム更新</p>						<p>・LEDイルミネーションの設置。</p>
経営改善・改革の内容	<p>総務部調査課の廃止 管理部事業課の廃止</p>						<p>・総務課長を総務部長事務取扱とする</p>
	<p>システム部・管理部の統合</p>						
経営改善・改革の内容	<p>システム管理部の廃止(総務部管理課、企画部システム課に変更)</p>						<p>・システム課長を部長事務取扱とする。</p>
	<p>中期経営計画(H16年度～H18年度) ・貸室事業の営業力強化や既存事業の経費削減・スリム化など経営基盤の強化 ・街全体の取り組み強化によるイベント事業等の効果的な展開による来街者促進</p>						
経常損益	28,962	▲3,739	18,995	▲9,967	27,229	8,234	15,606 ▲19,320
当期損益	9,754	▲3,531	8,112	▲1,642	7,778	▲334	13,358 1,087
純資産額	1,745,962	9,754	1,754,074	8,112	1,761,852	7,778	1,787,481 13,358
市からの補助金	51,969	▲16,264	51,417	▲552	46,841	▲4,576	50,642 2,794
市からの受託料	166,791	▲46,953	156,798	▲9,993	98,745	▲58,053	95,552 ▲263

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名:神戸ハーバーランド株式会社

団体名 株式会社神戸サンセンタープラザ

年	平成15年度		対前年		平成16年度		対前年		平成17年度		対前年		平成18年度		対前年		平成19年度		対前年		平成20年度		対前年		増減累計	
		34	▲3		38	4		▲8		30	▲2		28	▲2		28			29			0	1			▲8
職員数																										
投資の状況及び環境 変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貸会議室運営について、神戸市との管理委託契約方式から賃貸借契約方式に変更</li> <li>・三宮連絡地下道・京町筋歩道橋・生田筋(B1F、2F、3F)について、管理受託方式から自主管理方式に変更</li> </ul>																									
経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンセンタープラザ駐車場平日最大料金導入</li> <li>・サンセンタープラザ駐車場ポイントカードシステム導入</li> <li>・サンセンタープラザ駐車場を外部委託化</li> <li>・早期退職勧奨制度導入</li> </ul>																									
経常損益	250	2,280	▲1,687	▲1,937	6,163	7,850	12,507	6,344	12,811	304	中期経営計画(H19年度～H21年度) ・経常利益の確保														14,841	
当期損益	250	2,280	▲1,687	▲1,937	4,162	5,849	4,507	345	3,811	▲696															・サンセンタープラザ駐車場土日祝最大料金制導入	
純資産額	78,547	251	76,859	▲1,688	81,023	4,164	85,530	4,507	89,342	3,812	・経営部所管の営業課と営業企画課を統合し営業推進室を設置															
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	90,196	90,196	0	▲90,196															*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計	
市からの受託料	43,832	▲1,286	21,191	▲22,441	18,154	▲3,037	18,154	0	17,200	▲954	*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計															
団体名 株式会社神戸サンセンタープラザ																										

団体名 (財)神戸市開発管理事業団

年	単位:人、千円												
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	131	▲5	131	▲0	127	▲4	116	▲11	110	▲6	100	▲10	▲36
投資の状況及び環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学園東町近隣センター開設(スペースマーケット、集会所)</li> <li>西神南住民駐車場(井吹台東)開設</li> <li>西神南住民駐車場(井吹台西)開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北境頭ビル再建完了(阪神淡路大震災により被災)</li> <li>流通業務団地商業施設(スーパー、ガソリンスタンド等)開設</li> <li>西神南住民駐車場(井吹台西)開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まや流通センター(上屋)を事業団で建設し、運営開始&lt;藤取埠頭&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同平沢(コンテナ物流田舎)共同利用施設を事業団で建設し、運営開始&lt;ポアエイ二期&gt;</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸複合産業団地臨時駐車場開設</li> <li>キックセンタービルの一相(5~7階)をラボ仕様に改修し、医療研究系テナントを募集開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>須磨ニュータウン商業棟と西神ニュータウン商業棟を1課に統合。</li> <li>高塚ゴルフセンターの運営を民間委託。</li> <li>19年9月~施設劣化により「かか」もプールテレビ事業休止。</li> <li>ケーブルテレビ事業(内陸部)を民間事業者へ譲渡。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テナント誘致・商業施設管理業務を地域利運営から業務別運営に再編</li> <li>妙法寺駅前駐車場(バークアンドドライブ型)料金改定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽施設の整備によるバリエーションアップ</li> </ul>					
経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約係と経理係の統合</li> </ul>												
経常損益	12,437	3,541	25,443	13,006	43,358	17,915	65,650	22,292	550,593	484,943	541,697 571,695 1,772,951 ▲8,112 ▲687,140		
当期損益	12,117	33,541	25,123	13,006	43,038	17,915	65,328	22,290	550,271	484,943			
純資産額	10,313,773	▲2,906	10,590,404	276,631	11,252,286	661,882	11,487,855	235,569	12,089,630	601,775			
市からの補助金	58,036	▲2,906	58,041	5	58,698	657	58,336	▲362	52,830	▲5,506			
市からの受託料	1,061,027	▲245,861	986,587	▲74,440	857,814	▲128,773	792,364	▲65,450	619,748	▲172,816			

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 (財)神戸市開発管理事業団

団体名 財団法人神戸港埠頭公社

年	単位:人、千円												
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	46	▲2	46	▲2	44	▲2	45	▲1	44	▲1	43	▲1	▲5
投資の状況及び環境変化等	・貸付料減額措置の実施 (H14～H16) ・(税制特別の延長 16,17年度) 税制特別による効果 7.3億円	・(税制特別による効果) 6.6億円	・(税制特別による効果) 6.6億円	・(税制特別による効果) 6.6億円	・(税制特別による効果) 6.6億円	・(税制特別による効果) 6.6億円	・(税制特別による効果) 5.3億円	・(税制特別による効果) 5.3億円	・(税制特別による効果) 5.3億円	・(税制特別による効果) 5.3億円	・(税制特別による効果) 4.9億円	・(税制特別による効果) 4.9億円	・貸付料減額措置の延長 (H20～H22) ・(税制特別による効果) 4.9億円
経営改善・改革の内容	・遊休資産の売却(PC4,5) 43億円	遊休資産の売却 (PC1,2,3,4の一部 216億円)	遊休資産の売却 (PC1,3の一部 76億円)	遊休資産の売却 (PC1,4の一部 2.6億円) ・上海事務所開設	遊休資産の売却 (PC5西の一部 13億円)	遊休資産の売却 (職員宿舍ほか 1.8億円)							
経営改善・改革の内容	中期経営計画(H16年度～H18年度) ・埠頭貸付料の確保 ・遊休資産の早期売却 ・経営基盤の確立	中期経営計画(H19年度～H22年度) ・ポートセールス活動の推進 ・コンテナバースの効率的な運営 ・空きバース等の売却及びユーザー誘致等											
經常損益	▲1,030,398	1,028,075	▲1,896,297	▲825,899	▲976,021	880,276	▲1,615,715	▲639,694	▲111,595	1,504,120	1,946,878		
当期損益	4,606,419	3,236,454	14,825,273	10,218,854	6,410,623	8,414,650	▲519,422	▲6,930,045	673,984	1,193,406	▲695,981		
純資産額	19,316,768	4,606,419	34,142,041	14,825,273	40,552,663	6,410,622	40,033,241	▲519,422	40,707,225	673,984	25,996,876		
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	904,596	904,596	37,322	▲867,274	37,322		
市からの受託料	1,217	▲61	165,423	164,206	287,722	122,299	519,572	231,850	1,143	▲518,429	▲37,322		

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 株式会社神戸ニュータウン開発センター

単位：人、千円

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	56	▲2	53	▲3	53	0	52	▲1	51	▲1	51	0	▲7
投資の状況及び環境変化等	・キャンパススクエア リニューアル (書店棟新設) ・プレントイパークアベニュー 棟新設						・セリオ2Fコワーキングより返床 ・西神南カインズオープン		・プレントイ調剤薬局棟新設		・プレントイフットサル コート」新設 ・プレントイリニューアル 事業		
経営改善・改革の内容	・固有職員の幹部登活用に よる市派遣職員2名減 (部長級及び課長級) ・NEDO省エネルギー普及促 進対策事業補助金活用 (キャンパススクエア) ・覆面接客調査・テナント指導 (プレントイ)開始		・固有職員の幹部登活及び 業務の見直しによる市派遣職 員3名減(部長級及び課長 級) ・(来街・居住・流動)総合調査	・固有職員の幹部登活 (部長級及び課長級) ・電力事業者との契約変更 (プレントイ) ・駐車料金徴収業務自動機 械化(プレントイ)	・固有職員の幹部登活 による市派遣職員1名減 (課長級) ・電力事業者との契約変更 (プレントイ) ・本社・パティオ事務所 KEMS取得	・固有職員の幹部登活によ る市派遣職員1名減(部長 級) ・駐車料金徴収業務自動機 械化(セリオ) ・テナント誘致サポートシステ ム制度拡充 ・社員研修の拡充	・業務の見直しによる市 派遣職員1名減(課長級) ・社員研修の拡充						
経常損益	172,597	▲43,292	147,429	▲25,168	466,025	318,596	956,418	490,393	1,086,660	130,242			870,771
当期損益	98,877	8,797	85,654	▲13,223	277,217	191,563	523,808	246,591	646,746	122,938			556,666
純資産額	2,063,074	98,877	2,148,728	85,654	2,425,945	277,217	2,949,753	523,808	3,596,499	646,746			1,632,302
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
市からの受託料	52,971	▲13,809	51,868	▲1,103	51,360	▲508	51,086	▲274	37,605	▲13,481			▲29,175
<p>団体名 株式会社神戸ニュータウン開発センター</p> <p>中期経営計画(H16年度～H18年度) ・駐車場の料金徴収業務機械化 ・アリババンテナイ跡の活用→カインズホームを誘致 ・プレントイのリニューアルを検討</p> <p>中期経営計画(H19年度～H21年度) ・プレントイリニューアルの実施 ・安心・安全・快適な施設づくり(ユニバーサルデザイン の推進等)</p> <p>*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計</p>													

# 団体名 神戸航空貨物ターミナル株式会社

年	単位:人、千円												
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	11	▲1	11	▲1	10	▲1	6	▲4	7	▲1	7	0	▲4
投資の状況及び環境変化等	<p>・米西海岸港減ストの特需の反動による貨物量の減。                      ・車上通関の増加による貨物量の増。                      ・輸入貨物の関空での集中処理の進展による貨物量の減。</p> <p>・アジア向けの好調な需要及び米西海岸港混雑による航空輸送へのシフトによる貨物量の増。</p> <p>・航空貨物取扱業者の事業所の再編・統合の動き。</p>												
経営改善・改革の内容	<p>・貨物作業委託の見直し                      ・取締役削減                      ・効率化による社員削減</p> <p>・貨物取扱業務の全面的な見直し                      対象フォワーダーの縮小(8社⇒中/小3社)                      関空事務所縮小(108㎡⇒8㎡)                      施設賃貸料見直し(約35%、△85百万円)                      ・監査役会廃止(監査役削減)</p> <p>・取締役削減</p> <p>・貨物作業委託の見直し</p>												
経常損益	202,071	2,914	196,941	▲5,130	181,164	▲15,777	139,402	▲41,762	170,169	30,767	▲28,988		
当期損益	201,121	2,914	195,991	▲5,130	▲60,728	▲256,719	99,798	160,526	151,557	51,759	▲46,650		
純資産額	▲459,905	201,905	▲263,913	195,992	▲324,642	▲60,729	▲224,843	99,799	▲73,285	151,558	588,525		
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市からの委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

\*増減累計はH14からH20の累計、補助金、委託料はH14からH19の累計

中期経営計画(H18年度～H21年度)  
 ・年度ごとのアクションプランを策定

団体名 神戸航空貨物ターミナル株式会社



団体名 株式会社神戸フェリーセンター

単位:人、千円

年	平成15年度		対前年		平成16年度		対前年		平成17年度		対前年		平成18年度		対前年		平成19年度		対前年		平成20年度		対前年		増減累計		
	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	0	0	
職員数	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	18	0	0	0	
投資の状況及び環境変化等	プロバイダ事業の撤退																										
経営改善-改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の効率的配置</li> <li>・パート職員の縮小等による作業体制の見直しによる人件費の削減</li> <li>・給与体系の見直し、人事制度の改善、人件費の削減、その他経費削減</li> </ul>																										
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再雇用制度の整備</li> <li>・再雇用制度による人件費の削減</li> </ul>																										
<p>中期経営計画(H17年度~H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・債務超過解消</li> <li>・顧客満足と職員満足の両立</li> </ul>																											
経常損益	84,133	50,602	28,798	▲ 55,335	45,309	16,511	27,499	▲ 17,810	4,886	▲ 22,613	▲ 28,645																
当期損益	50,993	17,462	16,798	▲ 34,195	43,184	26,386	31,020	▲ 12,164	22,297	▲ 8,723	▲ 11,234																
純資産額	▲ 169,947	50,994	▲ 153,149	16,798	▲ 109,955	43,184	▲ 78,945	31,020	▲ 56,646	22,299	164,295																
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0																
市からの受託料	117,615	▲ 15,516	102,675	▲ 14,940	109,420	6,745	73,465	▲ 35,955	68,200	▲ 5,265	▲ 64,931																

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 株式会社神戸フェリーセンター

# 団体名 神戸空港ターミナル株式会社

年	単位:人、千円												
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	3	3	3	0	3	0	4	1	11	7	11	0	11
投資の状況及び環境変化等			ターミナルビル建設工事着手 ターミナルビル竣工		空港ターミナルビル及びポートライナー延伸線開業(H18.2) 第1駐車場芝生化と供用開始 空港開港(H18.2.16)		固定橋4本目供用開始 第2駐車場整備(H19.4月供用開始)		新潟・熊本線休止 石垣線運行開始 神戸天津及好の翼」事業によるチャーター機就航		SKY2便減便(7⇒5便) 天草エアラインの就航、鹿児島線の休止 SKYハイロット不足による運休(6月～7月) 団体待合室建設着手 宝飾店退店→生洋菓子店オープン 定期賃貸借契約終結(3年満了)により8店舗撤退 一ピジネスラウンジ整備		
経営改善・改革の内容			●単年度黒字を達成										
経常損益	▲33,112	▲26,645	▲44,716	▲11,804	▲110,964	▲66,248	477,804	588,768	338,847	▲138,957	中期経営計画(H19年度～H21年度) ・ビル買収業としての経営基礎を確立する等		345,314
当期損益	▲34,063	▲27,523	▲45,666	▲11,803	▲27,311	18,355	37,565	64,876	217,724	180,159			224,264
純資産額	1,262,396	810,937	2,062,729	800,333	2,035,417	▲27,312	2,169,620	134,203	2,159,270	▲10,350			1,707,811
市からの補助金	0	0	0	0	57,509	57,509	13,441	▲44,068	13,823	382			13,823
市からの受託料	0	0	0	0	103,803	103,803	3,095	▲100,708	3,250	155			3,250

\*増減累計はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 神戸空港ターミナル株式会社

# 団体名 海上アクセス株式会社

年	単位:人、千円											
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年
職員数	3	0	0	3	3	7	4	8	1	5	▲3	2
投資の状況及び環境変化等						<ul style="list-style-type: none"> <li>・運航再開(H18.7.13)</li> <li>・駐車場無料化開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶらっと日帰り往復券発売開始</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・季節ダイヤの導入</li> </ul>		
経営改善・改革の内容							<ul style="list-style-type: none"> <li>・チケットカウンター業務や繰取り業務の見直し、一般管理費の削減などの経費削減</li> <li>・広告収入の確保などの増収対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・船舶運航費をはじめとする全ての委託業務や一般管理費のさらなる削減</li> <li>・リース契約となっている船舶の購入による負担の軽減</li> <li>・駐車場運営など、収益が見込まれる付帯事業のさらなる拡充</li> </ul>				
経常損益	▲29,935	444,138	▲42,264	▲12,329	▲75,982	▲33,718	▲585,347	▲509,365	▲264,803	320,544	209,270	
当期損益	▲30,885	726,664	▲43,214	▲12,329	▲76,932	▲33,718	▲377,319	▲300,387	▲265,807	111,512	491,742	
純資産額	▲12,334,869	▲30,885	▲12,378,083	▲43,214	▲12,455,015	▲76,932	▲12,832,335	▲377,320	▲13,098,142	▲265,807	▲794,158	
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	218,668	218,668	218,668	
市からの受託料	0	0	0	0	0	0	0	0	43,740	43,740	43,740	
*増減累計はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計												

団体名 海上アクセス株式会社

団 体 名 社 団 法 人 神 戸 港 振 興 協 会

年	平成15年度		対前年		平成16年度		対前年		平成17年度		対前年		平成18年度		対前年		平成19年度		対前年		平成20年度		対前年		増減累計		
	職員数	53	8	122	69	107	▲15	82	▲25	69	▲13	66	▲3	69	▲13	66	▲3										
投資の状況及び環境変化等	<p>・アイリーマヤマザキ神戸新港東店開業</p> <p>・指定管理者として、神戸港震災メモリアルパークの管理運営業務受託</p> <p>・指定管理者として、神戸ポートターミナル及び中央突堤中央ターミナルの管理運営業務受託</p> <p>・港湾幹線道路料金徴収業務、須藤ヨットハーバー、神戸ポート中央突堤旅客ターミナル管理運営業務、岸壁給水業務を市から受託</p> <p>・移転した神戸港厚生サービス協会から港湾福利厚生施設等運営事業(神戸海員会館、神戸港藤原船員サービスセンターの運営)を継承</p> <p>・神戸海員会館及び神戸港藤原船員サービスセンターを閉館(17年3月31日)</p> <p>・神戸ポート管理運営業務、岸壁給水業務の終了</p> <p>アイリーマヤマザキ神戸新港東店を直営から賃貸に変更</p> <p>中期経営計画(H19年度～H21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市、埠頭公社、関係業界との一体化によるポートサービスの実施</li> <li>・会員サービスの充実、強化により会員のニーズに合った事業を展開</li> </ul>																										
経営改善・改革の内容																											
正味財産増減	1,984,956	2,072,257	▲1,870,368	▲82,358	▲196,946	▲32,785	49,573	▲19,114	13,671	▲19,114	13,671	▲19,114	13,671	▲19,114	13,671	▲19,114	13,671	▲19,114	13,671	▲19,114	13,671	▲19,114	13,671	▲19,114	13,671	▲19,114	13,671
正味財産	774,909	1,984,956	889,497	807,138	82,359	774,354	32,784	755,240	19,114	755,240	19,114	755,240	19,114	755,240	19,114	755,240	19,114	755,240	19,114	755,240	19,114	755,240	19,114	755,240	19,114	755,240	19,114
市からの補助金	54,000	0	▲12,000	42,000	0	45,000	3,000	45,000	0	45,000	0	45,000	0	45,000	0	45,000	0	45,000	0	45,000	0	45,000	0	45,000	0	45,000	0
市からの受託料	116,053	▲6,397	763,504	694,627	▲69,877	586,677	▲107,950	551,280	▲35,397	551,280	▲35,397	551,280	▲35,397	551,280	▲35,397	551,280	▲35,397	551,280	▲35,397	551,280	▲35,397	551,280	▲35,397	551,280	▲35,397	551,280	▲35,397
<p>団体名 社団法人神戸港振興協会</p> <p>*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計</p>																											
<p>68,187</p> <p>1,965,287</p> <p>▲9,000</p> <p>428,830</p>																											

団体名 財団法人 神戸市防災安全公社

年	平成15年度		対前年		平成16年度		対前年		平成17年度		対前年		平成18年度		対前年		平成19年度		対前年		平成20年度		対前年		増減累計		
	職員数	47	▲2	48	1	49	1	50	1	51	1	45	▲5	46	1	46	1	45	▲5	46	1	46	1	▲3			
経営の状況及び環境変化等																											
経営改善・改革の内容																											
正味財産増減	31,807	▲4,139	▲16,212	▲48,019	▲6,863	9,349	23,595	30,458	11,415	▲12,180																	▲24,531
正味財産	328,913	31,808	312,701	▲16,212	305,838	▲6,863	329,433	23,595	340,848	11,415																	▲43,743
市からの補助金	44,611	▲14,920	43,552	▲1,059	44,307	755	44,907	600	45,487	580																	▲14,044
市からの受託料	57,843	▲66,394	61,172	3,329	52,138	▲9,034	46,294	▲5,844	43,162	▲3,132																	▲81,075

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 財団法人 神戸市防災安全公社

団体名 財団法人神戸市水道サービス公社

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	300	▲15	281	▲19	243	▲38	231	▲12	250	▲19	207	▲43	▲108
投資の状況及び環境変化等	<p>・12年度以降、業務量減少を背景に赤字が発生</p> <p>・14年度末の退職金積立不足約4億9,500万円</p> <p>・神戸市事務事業外部評価「水道メーター検針・徴収業務」について、抜本的な見直しを指摘される。</p>	<p>水道局「新たな経営目標」(16~19年度) 19年度物件費を15年度予算比20%削減</p> <p>公民の役割分担の最適化</p>	<p>水道局「中期経営目標2011」(20~23年度) 23年度通常経費を19年度予算比10%削減</p> <p>公民の役割分担の最適化</p> <p>「水道事業の基幹的な部分は、公共性を担保するため、公が効率性を高めながら責任を持って進め、周辺分野を含むその他の分野では、積極的に民間活力の導入を進める。」</p> <p>「例えば、検針業務においては、一部地域で競争性を導入しているところがあるが、より、一層の効率的な実施体制を構築する。」</p>	<p>検針業務の一部(北区)における競争性導入に伴う民間委託化(19年下半期)</p>	<p>中期経営計画(H20年度~H23年度)</p> <p>さらに効率的な執行体制の確保及び経費削減に努めることにも、経営基盤の強化を図る。</p>	<p>38,589</p> <p>7,796</p> <p>▲43,172</p> <p>0</p> <p>▲832,215</p>							
経営改善・改革の内容			<p>1 人件費の引き下げ</p> <p>① 退職者不補充、多様な人材活用</p> <p>正課の嘱託化、OB嘱託の再々雇用、非常勤化、人材派遣・シルバー人材センターの活用等</p> <p>② 公社正課職員、常勤嘱託職員の給与肩入れ引き下げ(年収▲10%)</p> <p>③ 公社正課職員、常勤嘱託職員の退職手当の引き下げ(▲20%)</p> <p>④ 早期退職の募集</p> <p>平成17年2月(正課職員10名、嘱託職員10名)</p> <p>平成19年5月(嘱託職員12名)</p> <p>人件費削減額 15年度決算1,862百万円→19年度決算1,285百万円(▲31%)</p>						<p>平成19年度体制</p> <p>削減止 2課 1事業所 6係</p>				
経常損益	▲50,937	▲64,985	▲41,295	9,842	6,542	47,837	47,255	40,713	52,637	5,382			
当期損益	▲59,257	▲57,860	▲41,769	17,488	6,644	48,413	44,810	38,166	6,399	▲38,411			
純資産	68,057	▲59,256	26,288	▲41,769	32,932	6,644	77,742	44,810	84,141	6,399			
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
市からの委託料	2,289,271	▲335,274	2,124,533	▲164,738	1,975,184	▲149,349	1,867,803	▲107,381	1,791,330	▲76,473			

\*増減累計は、職員数はH14からH19の累計、委託料はH14からH19の累計

団体名 財団法人神戸市水道サービス公社

団体名 財団法人羽東川・波豆川流域水質保全基金

単位：人、千円

年	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
		0		0		0		0		0		0	0
職員数													
投資の状況及び環境変化等													
経営改善・改革の内容					トップの見直し 3市の市長が理事を退任し、特別職以外の職員が新たに理事長及び副理事長に選任された。								
正味財産増減	▲958	▲123	2,729	3,687	2,333	▲396	3,426	1,093	883	▲2,543			1,718
正味財産	618,512	▲958	621,241	2,729	623,574	2,333	627,000	3,426	627,883	883			8,413
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
市からの受託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 財団法人羽東川・波豆川流域水質保全基金

団体名 神戸交通振興株式会社

年	単位：人、千円												
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計
職員数	289	▲2	338	49	422	84	412	▲10	397	▲15	405	8	114
投資の状況及び環境変化等	・シテイー・ループバスの運行開始 ・西神中央にコンビニ開店	・市バス有野営業所の管理運営受託開始	・市バス魚崎営業所の管理運営受託開始 ・市営地下鉄海岸線駅務業務の受託開始	・市バス南売店をウォークイン型売店へ改装 ・ポーアイキヤンバス線の運行開始 ・市営地下鉄機械設備・駅務機器等の保守点検受託終了 ・地下鉄C定期導入	・駅前内店について、旧公済金から引き継いだ類似の事業の管理体制を一元化し、事務を効率化 中期経営計画(H17年度～H19年度) ・経営基礎の充実 ・競争力の強化 ・乗客サービスの向上	・シテイー・ループバスの終発時刻の繰り下げにより、乗車料収入が増取	・KEMS(神戸環境マシナトス)の導入 ・長田臨時駐車場閉場	・ポートアイランド線を民間バス事業者に引継ぎ ・高層臨時駐車場閉場 中期経営計画(H20年度～H22年度) ・経営基礎の安定、充実 ・競争力の強化 ・お客様サービスの向上	・駅構内店舗「Uライانس イーツステーション」開店 ・シテイー・ループバスの新車導入				
経営改善・改革の内容													
経常損益	74,358	42,957	158,639	84,281	46,291	▲112,348	116,156	69,865	37,739	▲78,417			6,338
当期損益	30,971	9,628	74,445	43,474	32,769	▲41,676	55,351	22,582	28,837	▲26,514			7,494
純資産額	387,090	30,970	461,535	74,445	494,304	32,769	549,655	55,351	578,493	28,838			222,373
市からの補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
市からの受託料	736,688	▲1,064,997	1,640,202	903,514	1,865,147	224,945	1,839,896	▲25,251	1,536,918	▲302,978			▲284,767

\*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、受託料はH14からH19の累計

団体名 神戸交通振興株式会社



団体名 財団法人神戸市体育協会

年	単位:人、千円													
	平成15年度	対前年	平成16年度	対前年	平成17年度	対前年	平成18年度	対前年	平成19年度	対前年	平成20年度	対前年	増減累計	
職員数	140人	▲16	112人	▲28	110人	▲2	67人	▲43	63人	▲4	59人	▲4	▲97	
投資の状況及び環境変化等							<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理の実施により、従来委託業務で実施していた2箇所のスポーツセンター、5箇所の体育館、自然の家及び生涯学習支援センターについて、指定管理者として管理運営を開始</li> <li>新たにポートアイランドホールを指定管理者として管理運営を開始</li> <li>指定管理の実施により、青少年科学館の管理運営業務からははずれる</li> </ul>							
経営改善・改革の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区体育館長、生涯学習支援センター真の賦格化</li> <li>垂水体育館の業務の一部を民間委託</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地区体育館3館業務の一部を民間委託</li> <li>埋蔵文化財担当の減</li> <li>相談役の減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>派遣職員定年退職者不補充</li> <li>国体開催経費への寄附等を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者委託に伴い王子スポーツセンター、ポートアイランドセンターの嘱託職員減、中央体育館、自然の家、支援センターから職員減</li> <li>青少年科学館の管理受託終了による職員減</li> <li>スポーツセンター、体育館については、NPO法人等と共同運営で指定管理業務を実施</li> <li>指定管理者として、高齢者や初心者等を対象としたスポーツ教室や地域スポーツクラブの交流支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者提案における減員計画により生涯学習支援センターの嘱託職員減。</li> <li>埋蔵文化財担当の減。</li> <li>派遣職員定年退職者不補充</li> <li>次期指定管理者公募に向け、指定管理者検討委員会を立上げ</li> </ul>								
正味財産増減	4,045	1,437	10,454	6,409	▲49,219	▲59,673	33,032	82,251	36,666	3,634			34,058	
正味財産	530,319	4,045	540,773	10,454	490,380	▲50,393	523,412	33,032	560,078	36,666			33,804	
市からの補助金	261,128	▲28,731	257,325	▲3,803	268,708	11,383	268,240	▲468	231,057	▲37,183			▲58,802	
市からの委託料	2,204,187	▲271,530	2,053,376	▲150,811	1,785,287	▲268,089	1,404,357	▲380,930	1,392,619	▲11,738			▲1,083,098	
<p>団体名 財団法人神戸市体育協会</p> <p>中期経営計画(H18年度～H22年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな市民ニーズに対応</li> <li>指定管理施設の効率的、効果的な運営</li> <li>自主事業の充実、開業による自主財源の確保</li> </ul>														
<p>*増減累計は、職員数はH14からH20の累計、補助金、委託料はH14からH19の累計</p>														



# 神戸市外郭団体経営評価委員名簿

(敬称略, 50音順)

(氏名)

(役職)

岡村 修

公認会計士・税理士

谷口 知史

株式会社日本総合研究所 総合研究部門  
経営革新クラスター  
クラスター長  
主席コンサルタント

西村 順二

甲南大学 経営学部教授

